

第60回
記念

全国聾学校

卓球大会

あ

つい想いを

い

っきゅうに込めろ

ち

からの限り

期 間 令和5年11月3日（金）～11月5日（日）

会 場 名古屋市千種スポーツセンター

主 催 : 全国聾学校体育連盟
共 催 : 社会福祉法人全国心身障害児福祉財団 全国ろう学校 PTA 連合会 愛知県教育委員会
後 援 : 文部科学省 公益財団法人日本卓球協会 全国聾学校長会 全国聾学校体育賞会
一般社団法人全日本ろうあ連盟 愛知県卓球協会 愛知県特別支援学校長会
東海地区聾学校長会 株式会社 VICTAS 日本卓球株式会社 株式会社タマス
松本徽章株式会社 東海地区聾学校 PTA 連絡協議会
主管連盟: 東海地区聾学校体育連盟（第60回記念全国聾学校卓球大会実行委員会）
競技運営: 愛知県卓球協会 東海地区聾学校体育連盟



競輪の補助事業

この卓球大会は競輪の補助を受けて開催しています。

<https://www.jka-cycle.jp>

KOKI NIWA ZC

丹羽孝希 ZC

I AM NEXT.



株式会社 VICTAS www.victas.com

製品情報はこちら



目 次

挨拶	全国聾学校体育連盟	会長	細萱 育子	2
祝辞	愛知県教育委員会	教育長	飯田 靖	3
歓迎の挨拶	愛知県卓球協会	会長	後藤 泰之	4
	大会実行委員会	実行委員長	伊藤 悟	5
選手宣誓	愛知県立岡崎聾学校	卓球部主将	澤 寿史	
大会役員・大会委員・競技役員・大会実行委員				6
大会日程				10
開会式・閉会式 式次第				11
大会実施要項				12
本大会申し合わせ事項・競技上の注意				14
一般注意事項				16
本大会における写真・ビデオ撮影について				17
参加校一覧				18
団体戦参加校・参加選手一覧<一部男子>				19
団体戦参加校・参加選手一覧<一部女子>				20
個人戦参加選手一覧<一部男女>				21
個人戦参加選手一覧<二部男女>				22
タイムテーブル 1 日目				23
タイムテーブル 2 日目				24
一部男子団体戦組み合わせ				25
一部女子団体戦組み合わせ				26
一部男子個人戦組み合わせ				27
一部女子個人戦組み合わせ				28
二部男子個人戦組み合わせ				29
二部女子個人戦組み合わせ				30
前日練習割当て表				31
競技 1 日目朝練習割当て表				32
コート配置図（1 日目）				33
コート配置図（2 日目）				34
会場応援座席配置図				35
会場周辺図・駐車場				36
個人情報及び肖像権に関わる取扱いについて				37
大会本部・緊急時の対応				38
緊急医療機関一覧				40
感染症対策（感染防止ガイドライン）				41
全国聾学校卓球大会栄光の記録 及び成績一覧表				42

挨拶



全国聾学校体育連盟

会長 細萱 育子

(長野県長野ろう学校長)

第60回記念全国聾学校卓球大会が、ここ愛知県名古屋市に全国各地から多くの選手の皆さんが集い、盛大に開催できますことを、心より嬉しく思います。

本大会は、昭和39年に始まり、今回は記念すべき60回目の大会となります。これまで60年の長きにわたり、大会を運営してくださった関係者の皆様の並々な熱意と努力に敬意を表すると共に、これまで支えてくださったすべての皆様に心より感謝申し上げます。本大会が始まった昭和39年は東京オリンピック開催の年であり、全国的にスポーツ熱が高まった年でもありました。それから60年の月日が経ち、今、日本ではスポーツ熱がさらに高まり、国内外の様々な種目で活躍する選手達の姿が夢と感動を与えています。2025年には、デフリンピック夏季大会が東京で開催されます。新たな時代の担い手となる皆さんの活躍を大いに期待しています。

さて、選手の皆さんは、これまで、“史上最も暑い”と言われる今年の夏の暑さや感染症対策による様々な制限の中で練習を重ねてきました。厳しい環境の中で練習を重ねてきたからこそ、心も身体も成長し技術も向上したことと思います。この経験をもとに、これまで皆さんを支え応援してくださった多くの方々への感謝を忘れず、これまで培った力を存分に発揮し、最後まで全力を尽くして競技してください。また、この大会を通して全国の仲間との交流を深め、友情を育んでほしいと思います。

最後になりましたが、本大会の開催にあたり、社会福祉法人全国心身障害児福祉財団、全国ろう学校PTA連合会、愛知県教育委員会をはじめ、諸団体・企業など多くの方々にご支援・ご協力をいただきましたことに厚く御礼申し上げます。また、本大会は、これまでの全国輪番の主管校方式から主管地区方式に変更になってからの初めての大会となります。大会運営にあたり多大なるご支援・ご協力をいただきました東海地区聾学校体育連盟の皆様、愛知県卓球協会の皆様、大会運営に携わっていただくすべての関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

選手の皆さんに心からエールを送るとともに、本大会が、皆さんの心にいつまでも残り、未来につながる記念すべき大会となることを祈念し、挨拶といたします。

祝 辞



愛知県教育委員会
教育長 飯田 靖

第60回記念全国聾学校卓球大会が、盛大に開催されますことをお喜び申し上げますとともに、選手、監督及び関係者の皆様を心から歓迎いたします。

全国大会を4年ぶりに愛知県において開催できますことは、誠に感慨深く、参加される選手の皆さんをはじめ、保護者の皆様、学校や大会関係者の皆様の御尽力に心から敬意を表します。

さて、ここ愛知県は、卓球と深い関わりがあり、1971年に第31回世界卓球選手権大会が開催され、諸外国との国交正常化の架け橋となった「ピンポン外交」の発祥の地とも呼ばれております。また、2021年の8月には、「ピンポン外交」開始から半世紀が経ったことを記念し、50周年記念交流大会が愛知県で開催されております。選手の皆さんには、本大会において日頃の練習の成果を存分に発揮していただくとともに、全国から集った多くの仲間たちとの交流を深め、実りの多い大会となりますことを期待しています。

また、2年後の2025年には、4年に1度開かれる「デフリンピック」が東京で開催されることが決定しております。本大会出場の選手の皆さんの中から、日本代表として活躍される選手が数多く生まれることを願っております。

御来県いただきました皆様には、この機会に、ぜひ愛知県の魅力にも触れていただきたいと思います。愛知県は、日本をけん引するものづくり産業や「なごやめし」に代表される食文化、歴史に残る英雄たちの遺産、世界中の人々に親しまれているジブリ作品の世界を表現した「ジブリパーク」など魅力にあふれています。お時間が許す限り、愛知県での滞在を楽しんでいただき、かけがえのない思い出に残る大会にさせていただきたいと思っております。

結びに、本大会の開催にあたり、御尽力をいただきました全国聾学校体育連盟をはじめ、大会実行委員会や関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、大会の成功を心から祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

歓 迎 の ご 挨 拶



愛知県卓球協会

名古屋市卓球協会

会 長 後 藤 泰 之

令和5年11月3日（金）～11月5日（日）、第60回記念全国聾学校卓球大会が、ここ愛知県「名古屋市千種スポーツセンター」にて開催されますことを心よりお慶び申し上げます。各地区から厳しい予選を勝ち抜かれた選手、役員そして応援のためにお越しいただいた皆様に愛知県民、名古屋市民を代表して歓迎いたします。

参加選手の皆様におかれましては、この大舞台での活躍をめざして、厳しい練習をしてこられたと思います。日頃の努力を信じて、目標に向かい頑張ってください。本大会を経験することで人間的にも大きく成長することを望みます。

そして試合の合間には全国の仲間との交流を深め思い出の多い大会になることを祈念します。

本県では2026年秋、アジア競技大会、アジアパラ競技大会（愛知・名古屋大会）がそれぞれ16日間計41競技と7日間計18競技が予定され、卓球会場は豊田市・スカイホール豊田で開催されます。現在、関係者が一体となり地域を挙げて盛り上げているところですのでどうか皆様もご期待ください。

終わりに、大会運営に尽力された関係の皆様に敬意を表しますとともに、大会の成功を心からお祈りし歓迎の挨拶とします。

歓迎の挨拶



大会実行委員会
実行委員長 伊藤 悟
(愛知県立名古屋聾学校)

第 60 回記念全国聾学校卓球大会が、東海地区各教育委員会、愛知県卓球協会を始め、関係の皆様のご支援、ご協力により開催できますことに深く感謝申し上げます。

昨年度は、新型コロナウイルスの影響を受けながらも、香川県において3大会ぶりの全国卓球大会が開催され、個人戦、団体戦ともに熱戦が繰り広げられました。選手の全力プレーに大きな感動が生まれ、全国大会の意義や価値を再確認することができました。今年度は、第60回の記念大会を愛知県名古屋市で開催します。区切りとなる本大会においても、さらなる感動が生まれることを期待しています。

さて、近年は、デフリンピックや世界卓球などの国際的な卓球大会で日本選手の活躍が目立ち、卓球の人気も高まっています。卓球の魅力は、卓越した選手の技術、スピード感や緊張感、気合の入ったパフォーマンスなどの素晴らしさとともに、身近なスポーツ施設などで家族や友人と楽しめる手軽さにもあると思います。この大会においても、全力で競技に臨んで日頃の練習の成果を発揮するとともに、卓球が好きな仲間との交流を深めてください。全国から集った選手の皆さんには、本大会を通して多くを経験し、学び、昨日の自分よりも一歩進んだ自分に成長してほしいと思います。本大会が、貴重な体験として皆さん一人一人の心に刻まれることを祈念し、歓迎の挨拶といたします。

選手宣誓

愛知県立岡崎聾学校
卓球部主将 澤 寿史

私たち選手一同は、第60回記念全国聾学校卓球大会の舞台に立てることを誇りに思い、これまで重ねてきた練習の成果を発揮するとともに、支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れることなく、1球1球心を込めて、最後まで正々堂々とプレーすることを誓います。

■大会役員

【大会名誉会長】	愛知県教育委員会	教 育 長	飯田 靖
【大会会長】	全国聾学校体育連盟	会 長	細萱 育子（長野）
【大会副会長】	東北地区聾学校体育連盟	会 長	庄司美千代（山形）
	関東地区聾学校体育連盟	会 長	原田 篤（大宮）
	北陸地区聾学校体育連盟	会 長	岡村 浩之（新潟）
	近畿地区聾学校体育連盟	会 長	山本 博之（和歌山）
	中国地区聾学校体育連盟	会 長	秋田 易子（鳥取）
	四国地区聾学校体育連盟	会 長	松本 淳（宇和）
	第60回全国聾学校卓球大会	実行委員長	伊藤 悟（名古屋）
【大会顧問】	公益財団法人日本卓球協会	会 長	河田 正也
	社会福祉法人全国心身障害児福祉財団	理 事 長	伍藤 忠春
	全国ろう学校PTA連合会	会 長	柴田 祐一
	全国ろう学校PTA連合会	事務局 長	鈴木 茂樹
	全国聾学校長会	会 長	木村 利男（東京中央）
	全国聾学校体育賞会	会 長	青山 利春
	一般財団法人全日本ろうあ連盟	理 事 長	石野富志三郎
	愛知県卓球協会	会 長	後藤 泰之
	愛知県特別支援学校長会	会 長（豊川特別支援学校校長）	鈴木 能成
	東海地区聾学校長会	会 長	岩田 直人（一宮）
	全国聾学校体育連盟	顧 問	若槻 馨
	全国聾学校体育連盟	顧 問	上杉 正忠
	全国聾学校体育連盟	顧 問	清水 和則
	全国聾学校体育連盟	顧 問	鈴木 三郎
	全国聾学校体育連盟	顧 問	高橋 八義
	全国聾学校体育連盟	顧 問	大和田 勉
	全国聾学校体育連盟	顧 問	丸山 隆輝
	全国聾学校体育連盟	顧 問	松田 勝次
	全国聾学校体育連盟	顧 問	宇野 正信
	全国聾学校体育連盟	顧 問	小玉 佳也
	全国聾学校体育連盟	顧 問	岡本 由美
	全国聾学校体育連盟	顧 問	新井 敏彦
	日本卓球株式会社	会 長	北岡 功
	株式会社 V I C T A S	代表取締役社長	松下 浩二
	株式会社 タ マ ス	代表取締役社長	大澤 卓子

【大会参加】	愛知県教育委員会保健体育課	課長	祖父江達夫
	愛知県教育委員会特別支援教育課	課長	安楽 孝幸
	東海地区聾学校体育連盟	副会長	
	荒木紫野舞（千種）	岩田 直人（一宮）	衛藤 真有（豊橋）
	能田 康雄（岡崎）	長瀬さゆり（岐阜）	服部 秀一（三重）
	東海地区聾学校PTA連絡協議会	会長	櫻井 美穂
	第60回記念全国聾学校卓球大会参加校 校長		
	佐藤 功一（宮城）	佐々木義範（秋田）	庄司美千代（山形）
	西村 則昌（福島）	本橋 源己（水戸）	平野 容子（栃木）
	原田 篤（大宮）	桑原 智子（坂戸）	松田 厚（千葉）
	西垣 昌欣（筑波）	木村 利男（東京中央）	姫野 滋子（葛飾）
	市川 裕二（立川）	中川 修一（横浜）	木村 則夫（山梨）
	生方 清司（長岡）	中山 博子（石川）	川畑 順一（福井）
	能田 康雄（岡崎）	岩田 直人（一宮）	服部 秀一（三重）
	山田 貴司（滋賀）	林田 健祐（だいせん）	宮本 稚子（神戸）
	押部 俊治（姫路）	出口千恵美（奈良）	山本 博之（和歌山）
	秋田 易子（鳥取）	中村 明子（松江）	永瀬 正幸（浜田）
	秋山 努（広島南）	小谷 慎一（徳島）	秋山 秀樹（香川）
	松本 淳（宇和）		

※次期開催主幹地区 近畿地区

■大会委員

【大会委員長】	全国聾学校体育連盟	理事長	浅原 正文（立川）
【大会副委員長】	全国聾学校体育連盟	事務局長	竹見 昌久（東京中央）
	全国聾学校体育連盟	常務理事	
	北澤 幸（山形）	阿部 浩之（坂戸）	奥田 泰平（福井）
	加藤 淳（名古屋）	松岡 沙穂（和歌山）	酒井 博文（鳥取）
	田岡 翔平（徳島）		
【大会委員】	全国聾学校体育連盟	理事	
	齋藤 宣和（福島）	諸井 孝吏（石川）	山下 真弥（岐阜）
	井上 愛子（奈良）	和田 希（松江）	徳田 祥一（高知）
	全国聾学校体育連盟	評議委員	
	阿保孝志朗（青森）	白澤 文敏（盛岡）	鷺 浩貴（宮城）
	齋藤 宣和（福島）	会場 一幸（秋田）	竹見 昌久（東京中央）
	苦瓜 道代（筑波）	野口 武（千葉）	上原 彰光（山梨）
	島上 淳（高岡）	加賀 充（長岡）	大木 伸宏（富山）
	齋藤 郁美（新潟）	田中 裕基（一宮）	鈴木 貴士（岡崎）
	中上ほなみ（豊橋）	笹之内孝史（三重）	柴田 葉月（京都）
	仲田 愛美（滋賀）	水間 恵（さいせん）	大槻 憲児（大阪中央）
	永野 朋宏（浜田）	前田 里絵（山口南）	浅井 祐哉（岡山）
	松田 恒（広島南）	戸島 信美（松山）	玉田 周作（宇和）
	秋和 慶子（香川）		

■大会実行委員

【実行委員長】	東海地区聾学校体育連盟	会長	伊藤 悟（名古屋）
【実行副委員長】	東海地区聾学校体育連盟	副会長	
	荒木紫野舞（千種）	岩田 直人（一宮）	衛藤 真有（豊橋）
	能田 康雄（岡崎）	長瀬さゆり（岐阜）	服部 秀一（三重）
【実行委員】	東海地区聾学校体育連盟	理事長	橋部 和典（名古屋）
	東海地区聾学校体育連盟	理事	
	稲葉 功樹（千種）	田中 裕基（一宮）	中上ほなみ（豊橋）
	鈴木 貴士（岡崎）	山下 真弥（岐阜）	笹之内孝史（三重）
	愛知県立名古屋聾学校		岡本 竹彦
【会計・監事】	愛知県立名古屋聾学校	事務長	高濱 昭博
	愛知県立名古屋聾学校	教頭	竹原いずみ
【事務局】	東海地区聾学校体育連盟	事務局長	加藤 淳（名古屋）

■競 技 役 員

【競技委員長】	全国聾学校体育連盟	理事長	浅原 正文 (立川)
【競技副委員長】	全国聾学校体育連盟	事務局長	竹見 昌久 (東京中央)
	東海地区聾学校体育連盟	会長	伊藤 悟 (名古屋)
【審判長】	愛知県卓球協会	審判委員長	二宮 哲朗
【副審判長】	愛知県卓球協会		松尾 裕子
【進行委員長】	愛知県卓球協会		土田 春雄
【進行副委員長】	愛知県卓球協会		安居院啓子
【オーダー委員】	愛知県卓球協会		鈴木 辰治
			山田 龍河
【コート主任】	全国聾学校体育連盟	常務理事	
	北澤 幸 (山形)	阿部 浩之 (坂戸)	奥田 泰平 (福井)
	松岡 沙穂 (和歌山)	酒井 博文 (鳥取)	田岡 翔平 (徳島)
【進行委員】	愛知県卓球協会		
	滝川 麗子	渡辺 悦子	松原佳代子
			水野 五子
【審判員】	愛知県卓球協会		
	両角由貴夫	牧野 稜太	牧吉 尚子
	岡本まゆみ	神谷 明子	岡本 早紀
	東海学生卓球連盟	12名	
【総務】	東海地区聾学校体育連盟	事務局長	加藤 淳

■競 技 役 員 (東 海 地 区 聾 学 校 職 員)

【進 行】	鈴木 貴士	柴田 有里	永井 直美	降旗 俊一
	水谷 友哉	水野 有也	山本 真以	
【オーダー係】	笹之内孝史	大辻 衣里		
【記 録】	山下 真弥	大下 健人	小川 貴大	上出 美華
	清水 太一	長間 巧	野田ひいず	橋本 浩一
	柳田 優香	吉田 晃樹		
【式典・表彰】	塩澤 直也	岡本 竹彦	佐藤 結友	田村 翠
	長崎 竜之	平川 弘和		
【放 送】	中上ほなみ	井上 勝雄	小澤 智美	川口 晴哉
	橋本 莉奈	古田 康貴	森 映子	
【受 付】	小泉健太郎	中西 佑輔	稲葉 功樹	安藤 孔祐
	岩川 晃平	小野 真稔	佐藤香保里	横井 達和
	吉田 健治			
【情報保障】	田中 裕基	伊藤 俊和	太田 晴彦	大橋 耕輔
	桧山 寛子	濱地 航平	早田 憲司	渡邊 美夏
【救 護】	石原 楓世	大野麻里子	佐脇 まり	柴田 麻里
	寺西 紗悠	松代 由香		

大会日程

大会会場：名古屋市千種スポーツセンター		
11月3日(金)	12:00～ 受付(千種スポーツセンター2F入口) 13:00～15:30 各校練習(第1競技場) 13:00～14:30 全体連 常務理事会(全体連役員控室) 15:00～16:00 監督会議(第2競技場) 16:30～17:00 開会式(第1競技場)	
11月4日(土)	7:30～ 大会役員等入館 7:50～ 選手入館 8:10～ 審判会議打合せ(1F会議室) 8:10～9:10 各校練習(第1競技場) 9:30～16:20 競技(20コート) (第1競技場) <一部男女団体戦> 予選リーグ 決勝トーナメント1回戦 <一部男女個人戦> トーナメント1・2回戦	
11月5日(日)	7:30～ 大会役員等入館 7:50～ 選手入館 8:10～ 審判会議打合せ(1F会議室) 8:00～8:40 各校練習(第1競技場) 9:00～14:10 競技(18コート) (第1競技場) <一部男女団体戦> 準決勝・決勝 <一部男女個人戦> トーナメント2・3回戦・準々決勝 準決勝・決勝 <二部男女個人戦> リーグ戦・予選リーグ 決勝トーナメント準決勝・決勝 14:45～15:25 閉会式(第一競技場) 15:45～ 選手退館	

開会式・閉会式 式次第

○開会式 11月3日（金）16：30～（司会進行 全国聾学校体育連盟北陸地区常務理事 奥田 泰平）

開式通告			
開会宣言	全国聾学校体育連盟	理事長	浅原 正文
優勝杯・準優勝杯返還ならびにレプリカ授与			
前年度一部男子団体戦 優勝校		愛知県立岡崎聾学校	
前年度一部男子団体戦 準優勝校		宮城県立聴覚支援学校	
前年度一部女子団体戦 優勝校		茨城県立水戸聾学校	
前年度一部女子団体戦 準優勝校		埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園	
大会会長挨拶	全国聾学校体育連盟	会長	細萱 育子
来賓祝辞	愛知県教育委員会	教育長	飯田 靖
来賓紹介			
競技上の注意	愛知県卓球協会	審判委員長	二宮 哲朗
選手宣誓	愛知県立岡崎聾学校	卓球部主将	澤 寿史
閉式通告			

○閉会式 11月5日（日）競技終了後～（司会進行 全国聾学校体育連盟北陸地区常務理事 奥田 泰平）

開式通告			
成績発表・表彰			
成績発表	全国聾学校体育連盟	常務理事	加藤 淳
表彰	全国聾学校体育連盟	会長	細萱 育子
主催者挨拶・閉会宣言	大会実行委員会	会長	伊藤 悟
閉式通告			

※ 閉会式後、感謝状贈呈

第60回記念全国聾学校卓球大会 実施要項

- 1 目 的 全国における聴覚障害教育を行う特別支援学校の体育を振興し、生徒の体力の向上を図るとともに、スポーツを通じ明朗な性格と協調精神を養い、あわせて学校相互の交流を深める。
- 2 期 間 令和5年11月3日（金）～11月5日（日）
- 3 会 場 名古屋市千種スポーツセンター
〒464-0808 愛知県名古屋市千種区星が丘山手121番地
（名古屋市営地下鉄東山線「東山公園」又は「星ヶ丘」から徒歩5分）
TEL 052-782-0700
- 4 主 催 全国聾学校体育連盟
- 5 共 催 社会福祉法人全国心身障害児福祉財団 全国ろう学校 PTA 連合会 愛知県教育委員会
- 6 後 援 文部科学省 公益財団法人日本卓球協会 全国聾学校長会 全国聾学校体育賞会
一般財団法人全日本ろうあ連盟 愛知県卓球協会
愛知県特別支援学校長会 東海地区聾学校長会 株式会社 VICTAS 日本卓球株式会社
株式会社タマス 松本徽章株式会社 東海地区聾学校 PTA 連絡協議会
- 7 主管連盟 東海地区聾学校体育連盟（第60回全国聾学校卓球大会実行委員会）
- 8 競技運営 愛知県卓球協会 東海地区聾学校体育連盟
- 9 競技種目 団体戦：一部男子・女子
個人戦：一部男子・女子、二部男子・女子
- 10 試合方法 (1) 一部男女団体戦について、予選はリーグ戦、決勝はトーナメント戦とする。
4シングル、1ダブルスの3点先取で行う。
(2) 一部男女個人戦は、トーナメント戦とする。
(3) 二部男女個人戦について、予選はリーグ戦、決勝はトーナメント戦を原則とする。
(4) 3位決定戦は行わない。
(5) その他、本大会の申し合わせ事項による。
- 11 競技規則 (1) 現行の日本卓球ルール、及び同規則による。
(2) 本大会の申し合わせ事項による。
- 12 使用球 日本卓球協会認定球。本大会はニッタク、VICTAS及びバタフライ日本卓球協会公認プラスチック40mm ボールを使用し、使用球は大会本部が準備する。
- 13 ゼッケン 選手は背に、氏名・校名を明記した縦20cm×横25cmのゼッケン（布製）をつけること。
- 14 参加資格 全国聾学校体育連盟大会運営細則第6条による登録をすませた生徒。
(1) 一部 ア. 聾学校高等部本科に在籍が3年以内の生徒で、令和5年4月2日現在で満15歳～19歳未満である生徒とする。
(2) 二部 ア. 専攻科在籍の生徒
イ. 本科在籍であっても、(1) 一部アの条件に欠ける生徒とする。
- 15 参加制限 (1) 一部団体戦は、1チーム4名以上7名以内をもって編成する。ただし、3名であっても参加を認め、その場合は2番のシングルスの不戦敗とする。
(2) 二部は個人戦のみとする。
(3) 参加制限数は、各部とも次の通りとする。ただし、各地区参加校数により、変更する場合がある。

	北海道 東北	関東	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州	前年度 優勝者
団 体	3	5	2	2	3	2	1	1	0
個 人	6	10	3	4	6	3	3	2	1

- 16 参加申込

下記の要領で期日までに加盟地区常務理事に申し込むこと。

(1) 大会ホームページより参加申込書をダウンロードし、必要事項を入力する。

(2) (1)で作成したものを添付してメール送信し、1部をプリントアウトして所属長押印の文書を加盟地区常務理事まで郵送する。

(申込先) 加盟地区常務理事

ホームページアドレス <https://nagoya-sd.aichi-c.ed.jp/cms/>
(愛知県立名古屋聾学校ホームページ内)

大会事務局専用Eメールアドレス me13@nagoya-sd.aichi-c.ed.jp

(締切期日) 令和5年9月8日(金)

(選手変更) 申込締切後の監督・コーチ・選手の変更は、団体戦のみ監督会議前までなら認める。
- 17 参加料

個人一人4,000円 団体1チーム4,000円 参加料については、下記大会口座へ振り込むこと。

(大会口座)

銀行名：大垣共立銀行 茶屋坂支店(店番号)043

口座番号：491992

口座名義：全国聾学校卓球大会実行委員会 委員長 伊藤 悟

(振り込み締切日) 令和5年9月8日(金)
- 18 表彰

団体戦(男女別)、個人戦(男女別)の3位まで表彰する。

団体戦：一部男子・女子

個人戦：一部男子・女子 二部男子・女子

※ただし、競技参加者が3人以内の場合は1位のみ表彰する。
- 19 日程

11月3日(金)	受付	12:00～	各校練習	13:00～15:30
	監督会議	15:00～16:00	開会式	16:30～17:00
11月4日(土)	開館	7:30～	競技	9:00～17:00
11月5日(日)	開館	7:30～	競技	9:00～14:30
	閉会式	14:45～15:25		
- 20 宿泊

名古屋市内ホテル
- 21 プログラム編成会議

(日時) 令和5年10月5日(木) 10:00～16:00

(会場) 愛知県立名古屋聾学校 会議室
- 22 監督会議

(日時) 令和5年11月3日(金) 15:00～16:00

(会場) 名古屋市千種スポーツセンター 第2競技場
- 23 その他

個人情報の取扱いについては、「第60回記念全国聾学校卓球大会における個人情報及び肖像権に関わる取扱いについて」による。なお、これに関わる申請書については参加申込時に大会事務局へ提出する。

本大会申し合わせ事項・競技上の注意

(第 60 回記念全国聾学校卓球大会 大会事務局)

1 本大会の適用ルール等について

- (1) 現行の日本卓球ルールを適用する。
- (2) 試合は、全て 5 ゲームマッチ (3 ゲーム先取) で行う。
- (3) 本大会の申し合わせ事項による。

2 全試合タイムアウトルールは適用しない。

3 試合開始前の練習時間は 1 分以内とする。

4 促進ルールについて

ゲーム開始後ロスタイムを含めて 11 分経過しても終了しない場合は、促進ルールが適用される。ただし、11 分経過時の両競技者のポイントスコアの合計が、少なくとも 18 ポイントに達している場合には、促進ルールは適用されない。(両競技者から、促進ルールの要求があれば、促進ルールが適用される。)

5 ボール・ラバー・ラケット等について

- (1) 使用球は、(公財) 日本卓球協会公認の 40mm 3 スター ホワイトプラスチックボールを使用する。
ニッタク (3 スタープレミアムクリーン 40+)、V I C T A S (VP40+)、バタフライ (A40+)、バタフライ (R40+) を使用するが、希望するメーカーが違う場合は対戦ごとにトスで決定する。ボールは各コートに置いているものから選択する。
- (2) ラバーは、JTТА または ITTF が公認したことを示すロゴがなければ使用できない。
- (3) 接着剤を含むラバーの厚さが 4.0 mm を超えるものや、ラバーの表面の平坦性が損なわれているラケットは使用できない。
- (4) 外国製ラケット、JTТА 公認マークのないものを使用する場合は、試合開始 30 分前までに審判長の許可を得なければならない。
- (5) 選手の責任において、揮発性有機溶剤を含んだ接着剤、ラバークリーナー等を使用してはならない。
- (6) ラバーの貼り替えは、ロビーの指定された場所で行うこと。

7 競技用服装等について

- (1) 服装は、JTТА の公認マーク付きのものを着用すること。団体戦に出場する競技者は、同じ服装で競技をしなければならない。ただし、ショーツ、スカートについては同系色であれば着用できる。連合チームについては、必ずしも同じ服装でなくてもよいこととする。
- (2) ゼッケンは定められた規格 (大きさは縦 20 cm、横 25 cm、選手名、所属名を明記) のもの、あるいは (公財) 日本卓球協会指定のものを使用する。

8 団体戦の競技方法について

- (1) 競技に使用するテーブルは 2 台で行う。
- (2) 試合は 4 単 1 複とし 3 試合先取で勝ちとする。試合順は 1 番複を若番コートで行い、2 ～ 5 番単とする。
1 番複試合終了後に 2 ・ 3 番単を行い、2 ・ 3 番単試合終了後に 4 ・ 5 番単の試合を以下の方法で行う。
 - ① 予選リーグにおいて、5 番単の試合が先に終了し、勝敗が決定した場合でも、4 番単の試合は最後まで行う。
 - ② 予選リーグにおいて、4 番単の試合が先に終了し、勝敗が決定した場合には、5 番単の試合はそのゲームが終了するまで行う。
 - ③ 決勝トーナメントにおいて、4 ・ 5 番単のいずれかが先に終了し、勝敗が決定した場合には、残りの試合はそのゲームが終了するまで行う。
 - ④ タイムテーブルの時間を超過しての試合の場合は、勝敗が決定し次第、ゲームの途中でも試合を止めることがある。

- (3) 1 番複は、2・3 番の選手だけで組むことはできない。
- (4) 3 人チームで対戦する場合は、2 番を棄権とし、オーダー用紙提出時にその旨を進行係に申し出る。
1 番複の試合終了後、3・4 番単の試合を行う。
- ※ 当日けが等で 3 人チームになった場合、そのチームの対戦相手がオーダー用紙を提出済みの場合は、
オーダーの再提出を認める。
- (5) 3 人チーム対 3 人チームの対戦で 2 対 2 となった場合は、ゲーム率・ポイント率によって勝敗を決定する。ただし、ゲーム率・ポイント率とも同率になった場合は、代表者による 1 マッチの決定戦を行う。その代表者は、チームの申告で代表者を決定する。
- (6) オーダー用紙の形式・提出について
 - ① オーダー用紙は 4 枚複写とする。
 - ② オーダー用紙はフルネームで記入し、オーダー提出所に提出する。
 - ③ 第 1 試合のオーダー用紙は、1 日目・2 日目ともに朝 8 時 25 分までにオーダー提出所に提出する。
 - ④ オーダー用紙は、オーダー提出所の担当者が記載内容を確認する。監督はその確認に立会い、確認後 1 枚を受け取る。
 - ⑤ 第 2 試合以降は、勝敗が決定後直ちに次のオーダー用紙を記入し、オーダー提出所に提出する。
- (8) タイムテーブルの試合 10 分前にはベンチに集合することとする。審判の指示に従いコートに入り、若番コートに整列（若番チームがコートのベンチ側）する。対戦校の確認、挨拶を終えてから 1 番複の試合開始とする。

9 抗議について

- (1) 個人戦ではその選手に、団体戦では監督のみ抗議権を認める。ただし、監督不在の場合は主将に認める。
- (2) 主審または副審によるルール解釈に関してのみ審判長に確認できるが、主審または副審による事実の判定については、審判長に確認することはできない。

10 アドバイスについて

- (1) 団体戦において、競技者はベンチにいることを認められた誰からでもアドバイスを受けることができる。
- (2) 個人戦において、競技者はその試合の開始前に主審に登録された一人のアドバイザーからのみアドバイスを受けることができる。
- (3) 競技者は、ゲームとゲームの間の休憩時間、あるいは認められた競技の中断時間にのみアドバイスを受けることができるが、練習時間終了時と試合開始の間はアドバイスを受けることはできない。
- (4) 手話通訳者がアドバイザーのアドバイスの内容を選手に伝えることは認める。

※ 本部が認めた手話通訳者は、ベンチの後ろに待機し、必要に応じて通訳に参加する。（大会事務局が提示した締切期日までに手話通訳申請を済ませた監督・コーチ及び選手には、監督会議時に大会事務局が決めた手話通訳者を割り当てることとする。その際の手話通訳者はビブスを着用する。）

11 競技中のベンチについて

- (1) 団体戦の場合は、監督 1 名・コーチ 1 名・選手 7 名以内とする。
- (2) 個人戦の場合は、登録された監督・コーチ及び選手のいずれか 1 名としてベンチに入ることができる。
- (3) 試合前にアドバイザーまたは選手が記録用紙のアドバイザー氏名欄に氏名を記入する。
- (4) アドバイザー（1 名）は、試合開始時に選手とともに入場する。また、試合中にベンチに入ることでもできる。試合途中でコートを離れた場合でも、そのコートに復帰することができる。

12 競技の進行は原則、タイムテーブルによる。ただし、試合時間が遅延した場合は、コート変更を行うことがある。また、タイムテーブルより早く試合を行う場合もあるので、連絡に注意し指示に従うこととする。

13 本大会では、同一側ベンチとする。ベンチの位置は、本部に向かって右側に数字の若い番号のチーム・選手が入ることとする。

14 本大会は原則、ダブルスは 2 人、シングルスは 1 人審判で行う。各競技種目準決勝戦からは 2 審制で行う。

一 般 注 意 事 項

- 1 第1競技場及び第2競技場内に入る際に、体育館シューズに必ず履き替えてください。
履き替えたシューズを入れておく下駄箱はありませんので、シューズ袋等を使用し各自で管理してください。ロビー及び観客席には下履きで入館できます。
- 2 更衣の際は、2 Fの男女更衣室を使用してください。なお、貴重品の管理は各校でお願いします。
- 3 第1競技場に飲料を持ちこむ際は、キャップのついた容器を使用してください。また、競技用具以外の物をコート内に持ち込まないでください。
- 4 練習会場および使用時間について
〔前日練習〕 第1競技場 (13:00～15:30の指定された時間)
〔競技1日目〕 第1競技場 (8:10～9:10の指定された時間)
〔競技2日目〕 第1競技場 (8:00～8:40の指定された時間)
※競技2日目の練習台振り分けにつきましては、競技1日目終了時に通知いたします。
- 5 ラバー貼替所は、第1競技場入り口前にあります。利用してください。
詳しくはプログラムでご確認ください。
- 6 フラッシュを使用してのカメラ撮影は、競技の妨げになりますので御遠慮ください。
- 7 観客席での飲食ができます。座席や床を汚さないように御協力ください。ゴミは、会場内のゴミ箱には捨てずに、各自で持ち帰りますようお願いいたします。
- 8 各校の横断幕・校旗等は観客席最前列の手すりに設置してください。
縦長のもの(縦1.5mを超えるもの)はご遠慮ください。ガムテープ、養生テープ等は使用できませんので、紐で設置できるようご準備下さい。なお、撤去については各校で取り忘れないように気をつけてください。
- 9 受付横に試合結果や連絡事項等の掲示板を設置しますので、適宜ご確認ください。また、本大会においての試合結果、連絡事項等の連絡については、ソーシャルネットワーキングサービスアプリケーション「X」(旧ツイッター)を通しても行います。必要とされる方は下記にあります、QRコードを読み取っていただきご活用ください。
- 10 駐車場につきましては1日300円必要となります。なお事前精算となりますので、1階中央入口前にある事前精算機で清算を済ませてから出庫させてください。

《お願い》

試合開始前の整列、挨拶、試合開始・終了後の審判の指示については、各校顧問で適宜手話通訳をお願いします。



「X」QRコード
【公式】全国聾学校卓球大会

卓球大会における写真・ビデオ撮影について

卓球大会において目的を逸脱した写真・動画などの撮影が行われ、雑誌やインターネット、その他の媒体に掲載されている事態が発生しています。

アスリートを盗撮被害から守るため、撮影に関する一定のルールを設定するとともに、大会関係者すべての皆様にご協力を要請いたします。

撮影に関する注意事項につきましては、下記のとおりです。

- ① 監督・コーチ以外の方々の撮影はすべて観客席から行ってください。
- ② 競技中のフラッシュを使つての撮影は御遠慮ください。
- ③ 三脚を使用しての撮影は、周りの皆様のご迷惑にならないようにしてください。
- ④ 盗撮・透過撮影行為防止のため、競技者の迷惑のかかる恐れのある撮影・行動を禁止します。
- ⑤ 撮影の仕方が不自然な場合や、盗撮が疑われた場合には、大会役員および競技役員が撮影内容を確認させていただく場合があります。
- ⑥ 盗撮行為を発見された場合は、お近くの大会役員または競技役員までお知らせください。また、発見次第、記録媒体没収の上、所轄警察署に通報します。
- ⑦ 競技運営上、撮影禁止エリアを設ける場合があります。
- ⑧ その他、上記の内容を含め、変更する場合がありますので、その際は大会役員および競技役員の指示に従ってください。

参加校一覧

地区	番号	学 校 名	団体		個人				参加者数	監督 上段：男子 下段：女子	コーチ 上段：男子 下段：女子
			一部		一部		二部				
			男	女	男	女	男	女			
東北	1	宮城県聴覚支援学校	3		3	1			4	佐藤 公貞	鈴木大二郎
	2	秋田県立聴覚支援学校	1		1		1	3	5	鈴木 英揚	熊谷 花菜 山谷 裕太
	3	山形県立山形聾学校	1	2	1	2	1		4	大宮 安晴	真木 郁子
	4	福島県立聴覚支援学校	1	2	1	2			3	品川 実香 齋藤 宣和	齋藤 宣和 品川 実香
関東	5	茨城県立水戸聾学校	3	6		2			9	窪木 達也 吉岡 道予	吉岡 道予 比佐 愛 飯島 隆斗
	6	栃木県立聾学校			1				1	佐々木 渉	
	7	埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園		2	1	2			3	中越 健太	高橋さおり 右島 舞奈
	8	埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園		2	1	2			3	樋口 圭市	北 照行 永田 礼恵
	9	千葉県立千葉聾学校			1	1			2	小川 文彦 石川 由香	石川 由香 小川 文彦
	10	筑波大学附属聴覚特別支援学校	7	5	3	1			12	柴崎 功士 澤口 真弓	相澤 龍大 田万 幸子 澤口 真弓 柴崎 功士
	11	東京都立中央ろう学校	7	3		2			10	迫田亮太郎	水崎 晃道 藤山 悦子
	12	東京都立葛飾ろう学校			1			2	3	木村 容一	深川恵美子
	13	東京都立立川学園	6	5	1		2	1	14	工藤 学人 小倉 裕之	小倉 裕之 加島あすか 加島あすか 工藤 学人
	14	横浜市長ろう特別支援学校	4		1				4	稲見 朋子	池谷 功二 安田 尚生
	15	山梨県立ろう学校		1					1	三森伸一朗	山口 剛広
北陸	16	新潟県立長岡聾学校	2	3	1	2			5	二瓶 智	三國 広一
	17	石川県立ろう学校					1		1	角地 洋一	
	18	福井県立ろう学校	2		1				2	奥田 泰平	岸下 淳一 山下 魁一
東海	19	愛知県立岡崎聾学校	5	4	3	3			9	辻村 麻里 岩瀬 浩伸	岩瀬 浩伸 辻村 麻里 戸川 和太
	20	愛知県立一宮聾学校		4		1			4	川井 友喜	柳瀬 勝文
	21	三重県立聾学校	5		1				5	佐藤 雅也	宮口 祥重 野呂 喜久代
近畿	22	滋賀県立聾話学校			1				1	小網 嘉将	杉 聖真
	23	大阪府立だいせん聴覚高等支援学校			1				1	上田 大輔	
	24	兵庫県立神戸聴覚特別支援学校	3		1	1			4	佐野 大地 青木 美静	青木 美静 佐野 大地
	25	兵庫県立姫路聴覚特別支援学校			1	2			3	古田 充代	高井 俊英
	26	奈良県立ろう学校	3		2	1			4	内山 修	渡邊 総人
	27	和歌山県立和歌山ろう学校				1			1	田村 彰吾	上野 瑞穂
中国	28	鳥取県立鳥取聾学校	3						3	田中 啓	
	29	島根県立松江ろう学校		3		1			3	佐藤 真由美	清水 和則 上田 寛也
	30	島根県立浜田ろう学校				1			1	野中 健吾	瀧山 彰江
	31	広島県立広島南特別支援学校	7		3	1			8	松田 恒 松岡 通浩	國本 正人 上尾 俊二
四国	32	徳島県立徳島聴覚支援学校			1	2			3	前田 和也	田岡 翔平
	33	香川県立聴覚支援学校				1			1	秋和 慶子	松田 有香
	34	愛媛県立宇和特別支援学校			1				1	曾根 一輝	
合 計			63	42	33	32	5	6	138		

団体戦参加校 参加選手一覧<一部男子>

地区	学 校 名	選 手 名 (学 年)			
東北	宮 城 県 立 聴 覚 支 援 学 校	まえの たくと (3)	みつはし いつき (3)	まえの ひろと (2)	
	秋 田 県 立 聴 覚 支 援 学 校	ぬまくら れん (2)			
	山 形 県 立 山 形 聾 学 校	こせき つかさ (3)			
	福 島 県 立 聴 覚 支 援 学 校	わたなべ りょう (2)			
関東	茨 城 県 立 水 戸 聾 学 校	さくらい はる き (3)	ささき ひで と (2)	さかもと ゆう ま (1)	
	筑波大学附属聴覚特別支援学校	かたやま じんいちろう (3)	こうの けんじ (3)	ただの しょう や (3)	わたなべ こうせい (2)
		はらだ ひかる (1)	にしかわ はる (1)	やすひら せん たろう (1)	
	東 京 都 立 中 央 ろ う 学 校	たかべ あおと (2)	たかべ はると (2)	なるせ 琥太郎 (2)	おしたて ともひろ (2)
		いとう たい き (2)	きとう けんゆう (1)	さいとう よう いちろう (1)	
	東 京 都 立 立 川 学 園	ともだ ゆう き (3)	まえかわ ともゆき (3)	えうら こう が (2)	さかい ま こ (2)
		たけい ともよし (1)	やまざし ゆう たろう (1)		
	横 浜 市 立 ろ う 特 別 支 援 学 校	やまもと こうた (3)	にしむら きようすけ (2)	あべ こう き (2)	きたばた れん (1)
北陸	新 潟 県 立 長 岡 聾 学 校	しのだ きょうへい (3)	ほんだ そら た (1)		
	福 井 県 立 ろ う 学 校	やまだ ひろ と (2)	よしだ りゅうじ (1)		
東海	愛 知 県 立 岡 崎 聾 学 校	さわ ひさし (3)	ひらいわ ひろき (3)	たばら ゆう と (2)	かみや むさし (1)
		よしだ だいご (1)			
	三 重 県 立 聾 学 校	にし ゆきと (1)	すえざき けいご (1)	はまぐち かい 権 (2)	よこやま だいち (2)
近畿	兵 庫 県 立 神 戸 聴 覚 特 別 支 援 学 校	ひがしだ ゆうせい (2)	わやく たかのぶ (2)	おおや そうま (2)	
	奈 良 県 立 ろ う 学 校	はやし たくみ (2)	かめだ しょうや (2)	みかみ まさと (2)	
中国	鳥 取 県 立 鳥 取 聾 学 校	ひしかわ れい (2)	たけむら そうた (2)	たき ゆうた (2)	
	広 島 県 立 広 島 南 特 別 支 援 学 校	たかはし けいすけ (3)	かしま こうだい (3)	やまもと ゆうき (2)	おおもと りょうた (1)
四国		さとう しゅんや (1)	たけやま りゅうすけ (1)	まつお と む (1)	
		佐藤 俊弥	竹山 琉介	松尾 翔夢	

団体戦参加校 参加選手一覧〈一部女子〉

地区	学 校 名	選 手 名 (学 年)					
東北	山 形 県 立 山 形 聾 学 校	ゆみた れい (3)	さいとう みな (3)				
	福 島 県 立 聴 覚 支 援 学 校	まつもと 瑠璃 (3)	えんどう みらい (3)				
関東	茨 城 県 立 水 戸 聾 学 校	しもじょう れいな (3)	さいとう れん (3)	たかせ みさき (3)	ねや あいみ (2)		
		むとう ゆうき (1)	ひらさわ ももこ (1)				
	埼 玉 県 立 特 別 支 援 学 校 大 宮 ろ う 学 園	ひらの ことね (2)	ひび はるみ (1)				
	埼 玉 県 立 特 別 支 援 学 校 坂 戸 ろ う 学 園	のろ ゆいな (3)	こばなわ ゆうな (2)				
	山 梨 県 立 ろ う 学 校	すずき ゆら (2)					
	筑 波 大 学 附 属 聴 覚 特 別 支 援 学 校	いしづか ゆうは (3)	いとう さき (2)	しまだ めい (2)	いしはま ひまり (2)		
北陸		にしかわ ここみ (1)					
	東 京 都 立 中 央 ろ う 学 校	とびやま まりな (2)	やすかわ さ な (2)	おおおか れいな (2)			
	東 京 都 立 立 川 学 園	たきざわ つばみ (3)	なかむら ここな (3)	みやした ゆい (3)	きくち みいな (2)		
東海		いのうえ 蒼和 (2)	中村 心奏 (3)	宮下 結衣 (3)	菊池 美衣菜 (2)		
	新 潟 県 立 長 岡 聾 学 校	いがらし ことね (3)	うちやま さき (3)	ほんだ こゆき (3)			
近畿	愛 知 県 立 岡 崎 聾 学 校	いど あずき (3)	つるた ののか (3)	たかはし こ こ香 (2)	むらい もえ か (1)		
	愛 知 県 立 一 宮 聾 学 校	さかきばら くる み (3)	にしかわ ちあき (3)	ますだ じゅり (2)	おかだ あゆり (1)		
中国							
	島 根 県 立 松 江 ろ う 学 校	いまい みさき (2)	やまがた みく (2)	うちだ いのり (2)			
四国							

個人戦参加選手一覧 〈一部男女〉

地区	男 子				女 子			
	学 校 名	選手名	ふりがな	年	学 校 名	選手名	ふりがな	年
東北	宮城県立聴覚支援学校	前野 拓斗	まえの たくと	(3)	宮城県立聴覚支援学校	佐藤 希莉	さとう きり	(1)
	宮城県立聴覚支援学校	三 橋 樹	みつはし いつき	(3)	山形県立山形聾学校	弓 田 怜	ゆみた れい	(3)
	秋田県立聴覚支援学校	沼 倉 蓮	ぬまくら れん	(2)	山形県立山形聾学校	齋藤 美菜	さいとう みな	(3)
	山形県立山形聾学校	小 関 司	こせき つかさ	(2)	福島県立聴覚支援学校	松本 瑠璃	まつもと るり	(3)
	福島県立聴覚支援学校	渡 部 諒	わたなべ りょう	(3)	福島県立聴覚支援学校	遠藤 実来	えんどう みらい	(3)
関東	栃木県立聾学校	町井 大隼	まちい ひろと	(3)	茨城県立水戸聾学校	下条 玲奈	しもじょう れいな	(3)
	埼玉県立特別支援学校 大宮ろう学園	鎌水 絆太	やりみず ばんた	(3)	茨城県立水戸聾学校	齊藤 蓮	さいとう れん	(3)
	埼玉県立特別支援学校 坂戸ろう学園	菊池 智喜	きくち ともき	(3)	埼玉県立特別支援学校 大宮ろう学園	平野 琴音	ひらの ことね	(2)
	千葉県立千葉聾学校	遠藤 隼人	えんどう はやと	(3)	埼玉県立特別支援学校 大宮ろう学園	日比 春海	ひび はるみ	(1)
	筑波大学附属 聴覚特別支援学校	原田 光輝	はらだ ひかる	(1)	埼玉県立特別支援学校 坂戸ろう学園	野呂 有依那	のろ ゆいな	(3)
	筑波大学附属 聴覚特別支援学校	甲野 謙治	こうの けんじ	(3)	埼玉県立特別支援学校 坂戸ろう学園	小堀 優菜	こぼなわ ゆうな	(2)
	筑波大学附属 聴覚特別支援学校	片山 仁一朗	かたやま じんいちろう	(3)	千葉県立千葉聾学校	御代田 玲美	みよた れみ	(1)
	東京都立葛飾ろう学校	櫻井 友也	さくらい ゆうや	(2)	筑波大学附属 聴覚特別支援学校	石濱 日菜理	いしはま ひまり	(2)
	東京都立立川学園	武井 大祐	たけい ともよし	(1)	東京都立中央ろう学校	飛山 菜里奈	とびやま まりな	(2)
	横浜市立ろう特別支援学校	山本 康汰	やまもと こうた	(3)	東京都立中央ろう学校	安川 沙那	やすかわ さな	(2)
北陸	福井県立ろう学校	山田 大斗	やまだ ひろと	(2)	新潟県立長岡聾学校	五十嵐 琴音	いがらし ことね	(3)
	新潟県立長岡聾学校	篠田 恭平	しのだ きょうへい	(3)	新潟県立長岡聾学校	本田 小雪	ほんだ こゆき	(3)
東海	愛知県立岡崎聾学校	澤 寿史	さわ ひさし	(3)	愛知県立岡崎聾学校	井戸 梓希	いど あずき	(3)
	愛知県立岡崎聾学校	平岩 大希	ひらいわ ひろき	(3)	愛知県立岡崎聾学校	村井 萌華	むらい もえか	(1)
	愛知県立岡崎聾学校	田原 悠隼	たばら ゆうと	(2)	愛知県立岡崎聾学校	高橋 恋香	たかはし ここ	(2)
	三重県立聾学校	末崎 圭吾	すえざき けいご	(1)	愛知県立一宮聾学校	西川 千晶	にしかわ ちあき	(2)
近畿	滋賀県立聾話学校	木 下 渉	きのした あゆむ	(2)	兵庫県立神戸聴覚特別支援学校	松本 みなも	まつもと みなも	(3)
	大阪府立だいせん 聴覚高等支援学校	中澤 悠希	なかざわ ゆづき	(1)	兵庫県立姫路聴覚特別支援学校	安村 心華	やすむら ここは	(3)
	兵庫県立神戸聴覚特別支援学校	和薬 崇伸	わやく たかのぶ	(2)	兵庫県立姫路聴覚特別支援学校	山崎 鈴	やまさき すず	(3)
	兵庫県立姫路聴覚特別支援学校	英山 拓未	えいやま たくみ	(3)	奈良県立ろう学校	松本 彩香	まつもと さやか	(2)
	奈良県立ろう学校	林 拓海	はやし たくみ	(2)	和歌山県立和歌山ろう学校	川口 菜月	かわぐち なつき	(2)
	奈良県立ろう学校	亀田 祥也	かめだ しょうや	(2)				
中国	広島県立広島南特別支援学校	大本 涼太	おおもと りょうた	(1)	島根県立松江ろう学校	山縣 未空	やまがた みく	(2)
	広島県立広島南特別支援学校	竹山 琉介	たけやま りゅうすけ	(1)	島根県立浜田ろう学校	櫻井 結衣菜	さくらい ゆいな	(1)
	広島県立広島南特別支援学校	山本 佑輝	やまもと ゆうき	(2)	広島県立広島南特別支援学校	原田 夏実	はらだ なつみ	(1)
四国	愛媛県立宇和特別支援学校	久保 輝紘	くぼ きづな	(3)	徳島県立徳島聴覚支援学校	山市 優奈	やまいち ゆな	(2)
	徳島県立徳島聴覚支援学校	山田 涼大	やまだ りょうた	(1)	徳島県立徳島聴覚支援学校	松長 愛純	まつなが あずみ	(2)
				(3)	香川県立聾学校	村垣 ありさ	むらがき ありさ	(3)
前優	宮城県立聴覚支援学校	前野 大斗	まえの ひろと	(2)				

個人戦参加選手一覧 〈二部男女〉

地区	男 子				女 子			
	学校名	選手名	ふりがな	年	学校名	選手名	ふりがな	年
東北	秋 田 県 立 聴 覚 支 援 学 校	松 本 拓 己	まつもと たくみ	(2)	秋 田 県 立 聴 覚 支 援 学 校	長 門 里 紗	ながと りさ	(1)
	山 形 県 立 山 形 聾 学 校	梅 津 遼	うめつ りょう	(2)	秋 田 県 立 聴 覚 支 援 学 校	門 脇 紗 南	かどわき さな	(2)
					秋 田 県 立 聴 覚 支 援 学 校	畠 山 朱 里	はたけやま あかり	(1)
関東	東 京 都 立 立 川 学 園	栗 山 創 多	くりやま そうた	(1)	東 京 都 立 葛 飾 ろう 学 校	福 田 実 可	ふくだ みか	(2)
	東 京 都 立 立 川 学 園	井 上 絢 介	いのうえ けんすけ	(2)	東 京 都 立 葛 飾 ろう 学 校	高 根 咲 椰	たかね さや	(2)
					東 京 都 立 立 川 学 園	中 澤 祐 紀	なかざわ ゆうき	(1)
北陸	石 川 県 立 聾 学 校	城 崎 雄 二	しろさき ゆうじ	(2)				

タイムテーブル(1日目)

11月4日(土) 競技1日目

一部男子団体戦:予選リーグ 決勝トーナメント1回戦

一部女子団体戦:予選リーグ 決勝トーナメント1回戦

一部男子個人戦:1・2回戦

一部女子個人戦:1回戦

BT:一部男子団体戦

GT:一部女子団体戦

B:一部男子個人戦

G:一部女子個人戦

	9:30	10:50	12:10	13:50	14:20	15:10	16:30
1	BT D	BT D	BT D	B101	B201	決勝T1回戦	
2	1 - 4	1 - 3	1 - 2	B202	B210	BT101	
3	BT D	BT D	BT D	B203	B211	決勝T1回戦	
4	2 - 3	2 - 4	3 - 4	B204	B212	BT102	
5	BT C	BT C	BT C	B205	B213	決勝T1回戦	
6	1 - 4	1 - 3	1 - 2	B206	B214	BT103	
7	BT C	BT C	BT C	B207	B215	決勝T1回戦	
8	2 - 3	2 - 4	3 - 4	B208	B216	BT104	
9	BT B	BT B	BT B	B209			
10	2 - 3	1 - 3	1 - 2				
11	BT A	BT A	BT A				
12	2 - 3	1 - 3	1 - 2				
13	GT A	GT A	GT A	G101	G109	決勝T1回戦	
14	1 - 4	1 - 2	1 - 3	G102	G110	GT101	
15	GT A	GT A	GT A	G103	G111		
16	2 - 3	3 - 4	2 - 4	G104	G112		
17	GT B	GT B	GT B	G105	G113	決勝T1回戦	
18	2 - 3	1 - 3	1 - 2	G106	G114	GT102	
19	GT C	GT C	GT C	G107	G115		
20	2 - 3	1 - 3	1 - 2	G108	G116		
	9:30	10:50	12:10	13:50	14:20	15:10	16:30

タイムテーブル(2日目)

11月5日(日) 競技2日目

一部男女団体戦:決勝トーナメント 準決勝～決勝

一部男女個人戦:2・3回戦～決勝

二部男女個人戦:予選・決勝リーグ

BT:一部男子団体戦

B:一部男子個人戦

M:二部男子個人戦

GT:一部女子団体戦

G:一部女子団体戦

W:二部女子個人戦

(B・G)	9:00				10:30				12:10				13:10				13:40									
1													B301													
2													B302		B401											
3	準決勝 BT201								B303																	
4									B304		B402		準決勝 B501													
5									決勝 BT301				B305						決勝 B601							
6	準決勝 BT202												B306		B403		準決勝 B502									
7									B307																	
8	Mリーグ 1－4				Mリーグ 1－3				Mリーグ 1－2		B308		B404													
9	Mリーグ 2－3				Mリーグ 2－4				Mリーグ 3－4																	
(M)	9:00				10:00				11:00																	
(B・G)	9:00				10:30				12:10				13:10				13:40									
10													G201													
11													G202		G301											
12	準決勝 GT201								G203																	
13									G204		G302		準決勝 G401													
14									決勝 GT 3 0 1				G205						決勝 G501							
15	準決勝 GT202												G206		G303		準決勝 G402									
16									G207																	
17	WリーグA 1－3		WリーグA 2－3		WリーグA 1－2		W準決勝 W101				G208		G304													
18	WリーグB 1－3		WリーグB 2－3		WリーグB 1－2		W準決勝 W102		W決勝 W201																	
(W)	9:00		9:30		10:00		10:50		11:30		24－															

団体戦組み合わせ 一部男子(BT)

予選リーグ

Aブロック	1 秋田・山形・福島	2 立川	3 鳥取	得点	勝率	順位
1 秋田 山形 福島						
2 立川						
3 鳥取						

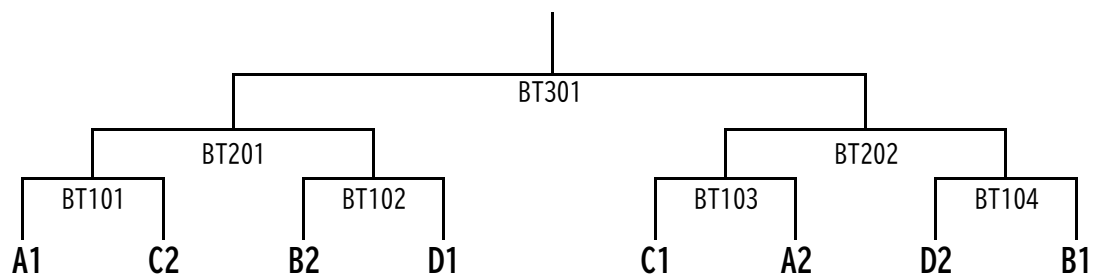
Bブロック	1 長岡・福井	2 宮城	3 横浜	得点	勝率	順位
1 長岡 福井						
2 宮城						
3 横浜						

Cブロック	1 岡崎	2 広島南	3 奈良	4 東京中央	得点	勝率	順位
1 岡崎							
2 広島南							
3 奈良							
4 東京中央							

Dブロック	1 神戸	2 筑波	3 三重	4 水戸	得点	勝率	順位
1 神戸							
2 筑波							
3 三重							
4 水戸							

決勝トーナメント

優勝



団体戦組み合わせ 一部女子(GT)

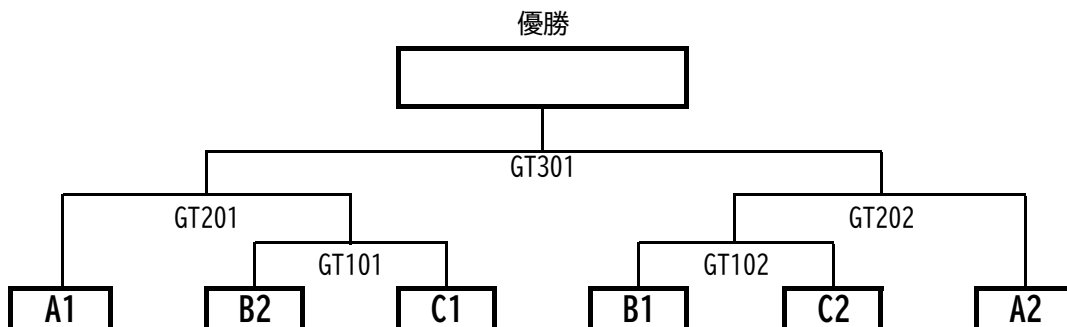
予選リーグ

Aブロック	1 岡崎	2 松江	3 東京中央	4 立川	得点	勝率	順位
1 岡崎							
2 松江							
3 東京中央							
4 立川							

Bブロック	1 長岡	2 大宮・坂戸・山梨	3 筑波	得点	勝率	順位
1 長岡						
2 大宮 坂戸 山梨						
3 筑波						

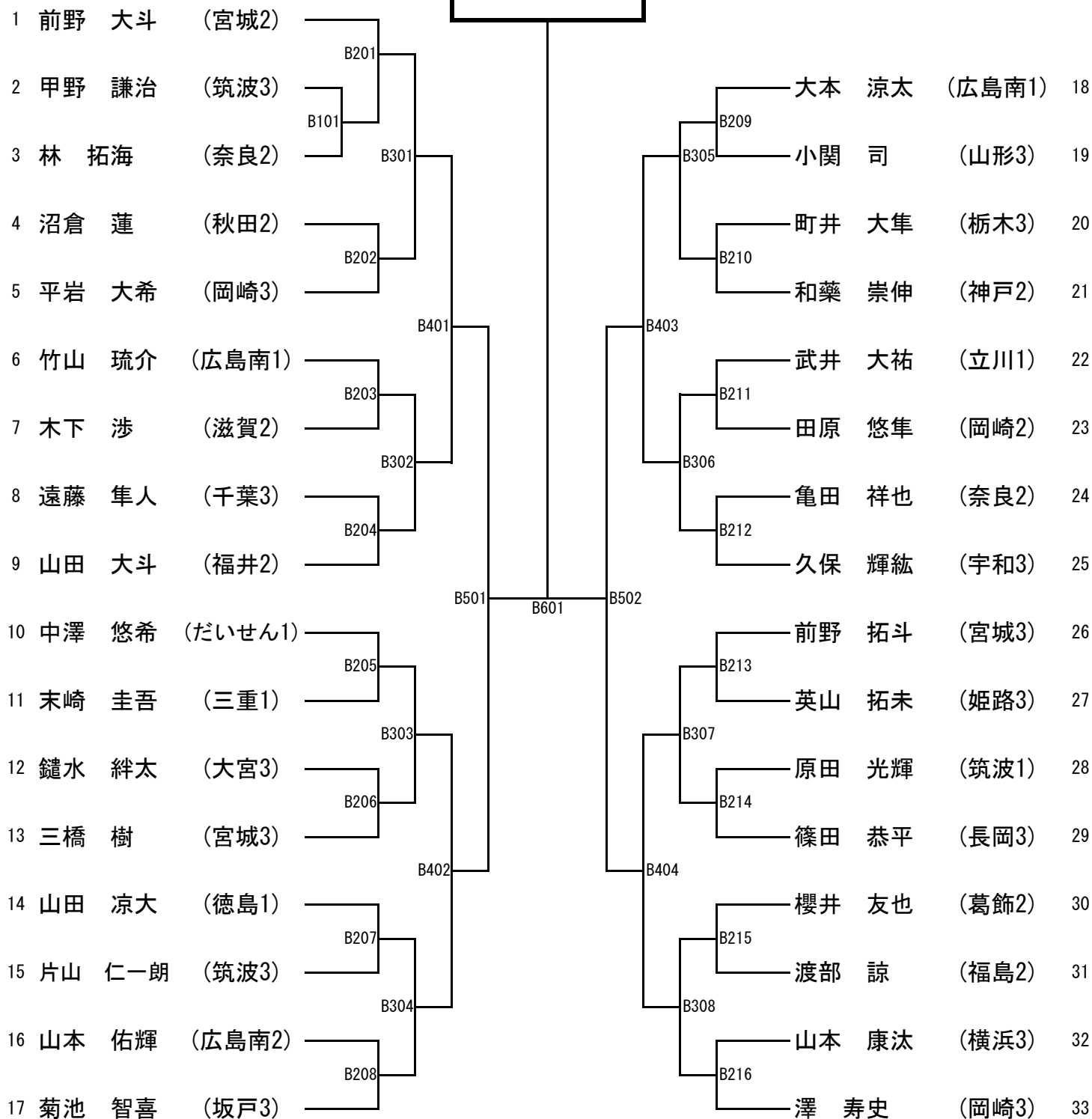
Cブロック	1 水戸	2 山形・福島	3 一宮	得点	勝率	順位
1 水戸						
2 山形 福島						
3 一宮						

決勝トーナメント



個人戦組合せ 一部男子 (B)

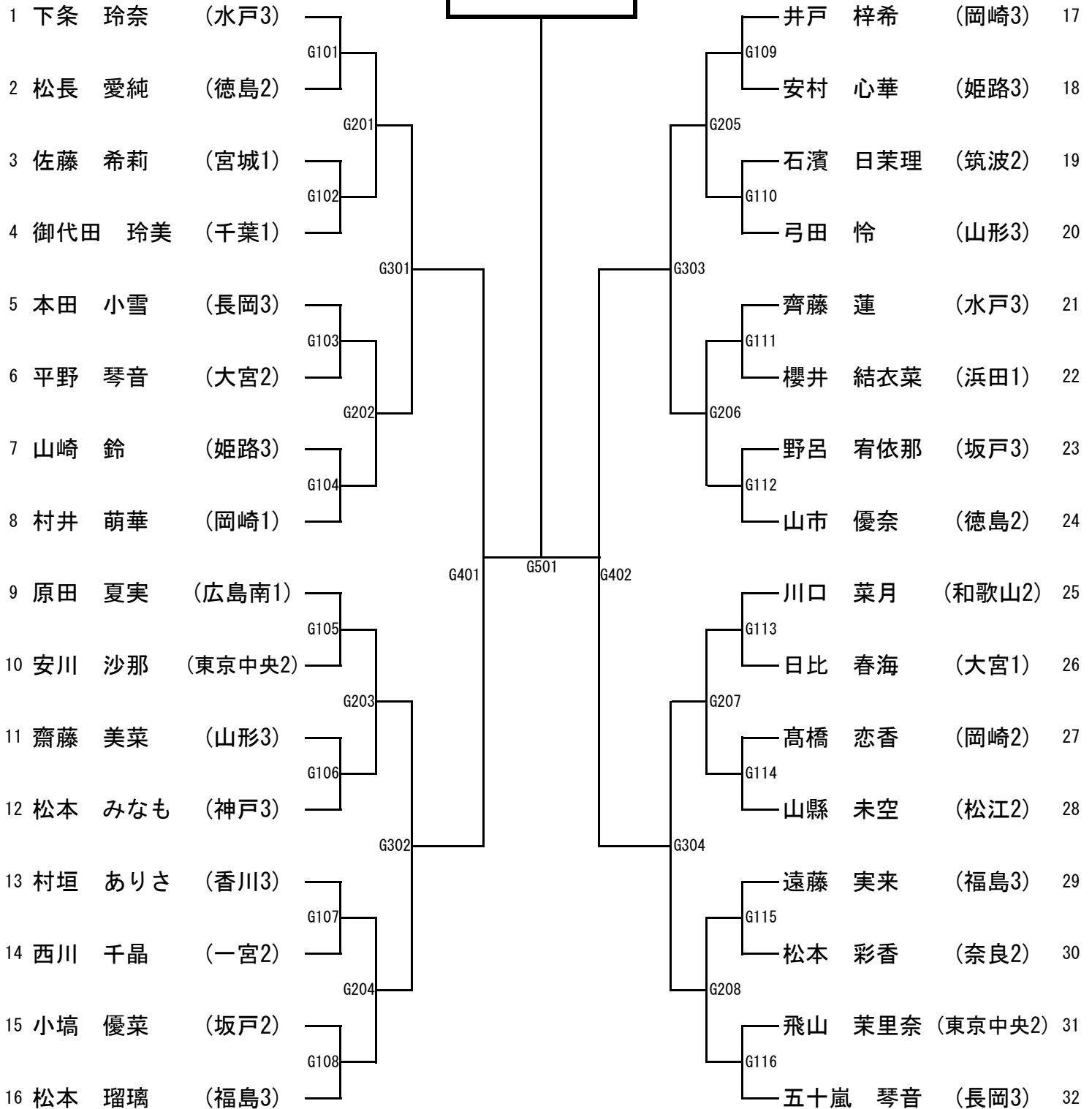
優勝



優勝	
準優勝	
第 3 位	

個人戦組合せ 一部女子 (G)

優勝



優勝	
準優勝	
第3位	

リーグ戦表

Aブロック	1 松本 拓己	2 栗山 創多	3 城崎 雄二	4 梅津 遼	得点	勝率	順位
1 松本 拓己 (秋田2)							
2 栗山 創多 (立川3)							
3 城崎 雄二 (石川2)							
4 梅津 遼 (山形2)							

※ 実施要項より、順位決定戦は行わないものとする。

※ 得点・勝率が同率の場合は、ゲーム率・ポイント率によって順位を決定する。

優勝	
準優勝	
3位	

予選リーグ組み合わせ 二部女子(W)

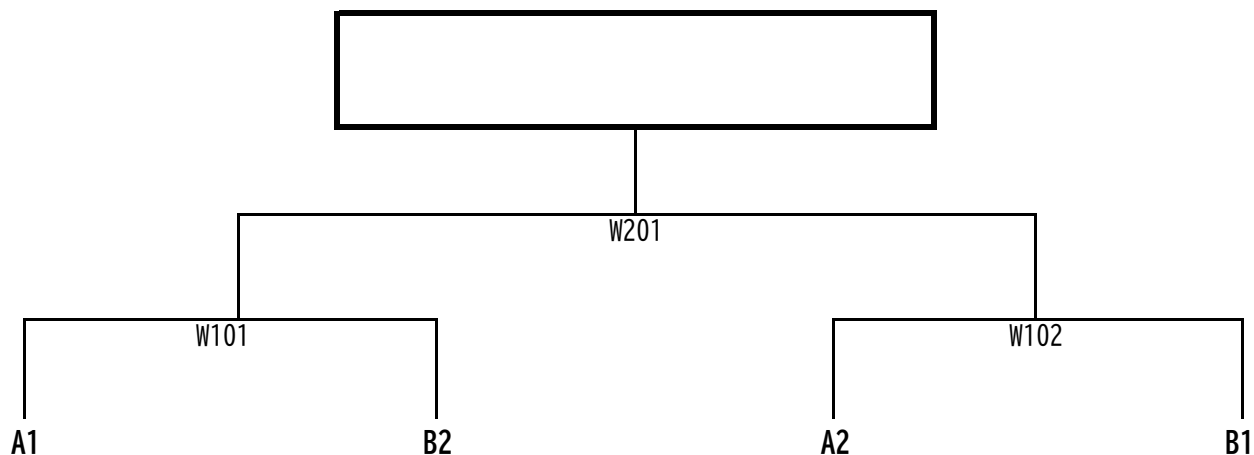
予選リーグ

Aブロック	1 福田 実可	2 門脇 紗南	3 中澤 祐紀	得点	勝率	順位
1 福田 実可 (葛飾2)						
2 門脇 紗南 (秋田2)						
3 中澤 祐紀 (立川1)						

Bブロック	1 長門 里紗	2 高根 咲椰	3 畠山 朱里	得点	勝率	順位
1 長門 里紗 (秋田1)						
2 高根 咲椰 (葛飾2)						
3 畠山 朱里 (秋田1)						

決勝トーナメント

優 勝



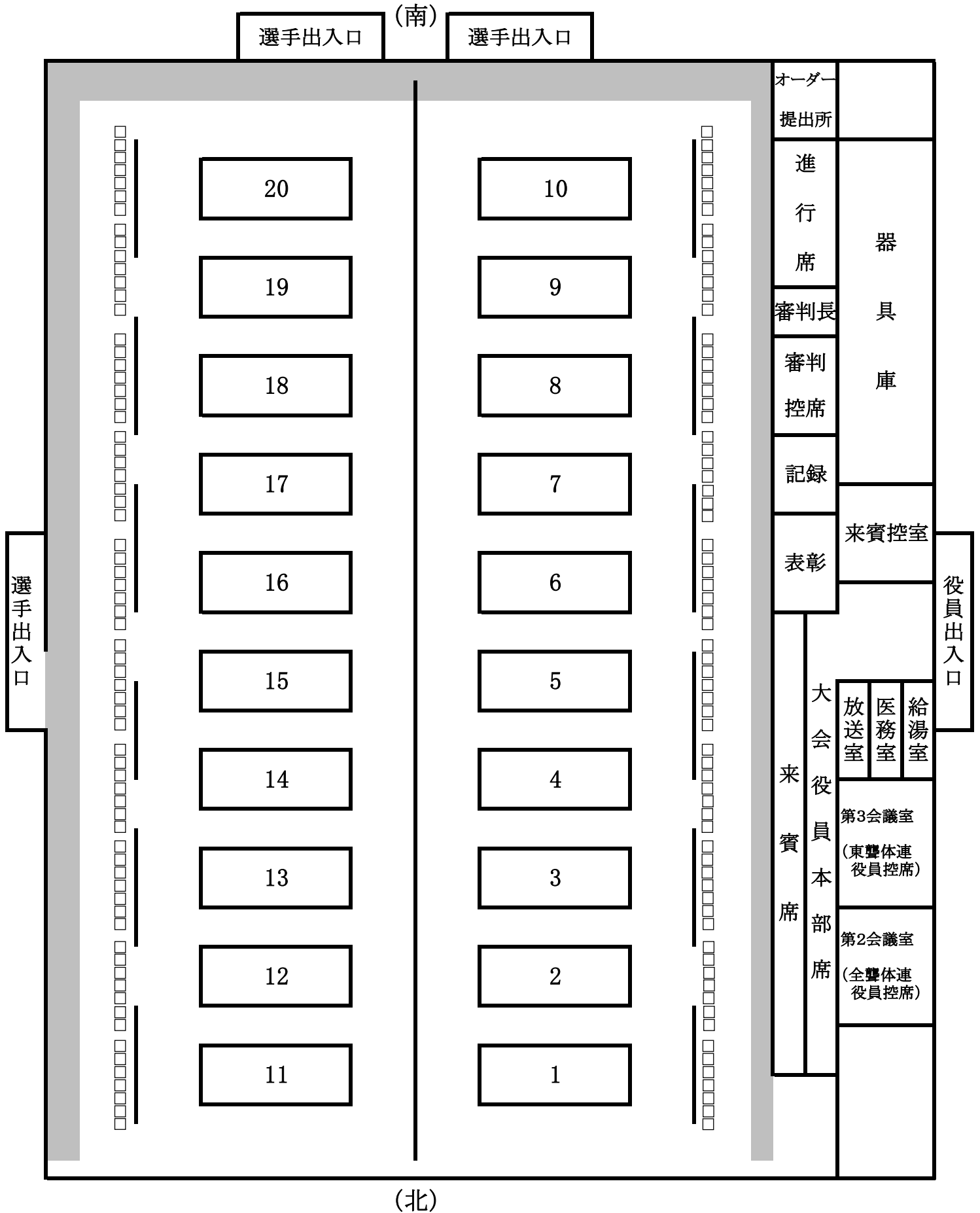
前 日 練 習 割 当 て 表

コート	13:00～14:15 【前半】	人数	コート	14:15～15:30 【後半】	人数
2	埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園	3	2	宮城県立聴覚支援学校	4
3	埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園	3	3	秋田県立聴覚支援学校	5
4	山梨県立ろう学校 栃木県立聾学校	2	4	山形県立山形聾学校	4
5	千葉県立千葉聾学校	2	5	福島県立聴覚支援学校	3
6	東京都立葛飾ろう学校	3	6	茨城県立水戸聾学校	9
7	筑波大学附属聴覚特別支援学校	12	7	東京都立中央ろう学校	10
8			8		
9			9		
10	横浜市立ろう特別支援学校	4	10	東京都立立川学園	14
12	愛知県立岡崎聾学校	9	12		
13			13		
14	三重県立聾学校	5	14	新潟県立長岡聾学校	5
15	滋賀県立聾話学校 大阪府立だいせん聴覚高等支援学校	2	15	福井県立福井ろう学校	2
16	兵庫県立神戸聴覚特別支援学校	4	16	兵庫県立姫路聴覚特別支援学校	3
17	奈良県立ろう学校	4	17	島根県立浜田ろう学校 和歌山県立和歌山ろう学校	2
18	鳥取県立鳥取聾学校	3	18	島根県立松江ろう学校	3
19	徳島県立徳島聴覚支援学校	3	19	広島県立広島南特別支援学校	8
20	香川県立聴覚支援学校 愛媛県立宇和特別支援学校	2	20		

一 日 目 練 習 割 当 て 表

コート	8:10～8:40 【前半】	人数	コート	8:40～9:10 【後半】	人数
1	埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園	3	1	宮城県立聴覚支援学校	4
2	埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園	3	2	秋田県立聴覚支援学校	5
3	山梨県立ろう学校 栃木県立聾学校	2	3	山形県立山形聾学校	4
4	千葉県立千葉聾学校	2	4	福島県立聴覚支援学校	3
5	東京都立葛飾ろう学校	3	5	茨城県立水戸聾学校	9
6	筑波大学附属聴覚特別支援学校	12	6		
7			7	東京都立中央ろう学校	10
8			8		
9	横浜市立ろう特別支援学校	4	9	東京都立立川学園	14
10	愛知県立岡崎聾学校	9	10		
11			11		
12	愛知県立一宮聾学校	4	12	新潟県立長岡聾学校	5
13	三重県立聾学校	5	13	福井県立福井ろう学校	2
14	滋賀県立聾話学校	1	14	石川県立ろう学校	1
15	大阪府立だいせん聴覚高等支援学校	1	15	兵庫県立姫路聴覚特別支援学校	3
16	兵庫県立神戸聴覚特別支援学校	4	16	和歌山県立和歌山ろう学校	1
17	奈良県立ろう学校	4	17	島根県立浜田ろう学校	1
18	徳島県立徳島聴覚支援学校	3	18	島根県立松江ろう学校	3
19	鳥取県立鳥取聾学校	3	19	広島県立広島南特別支援学校	8
20	香川県立聴覚支援学校 愛媛県立宇和特別支援学校	2	20		

コート配置図（第1競技場1日目）

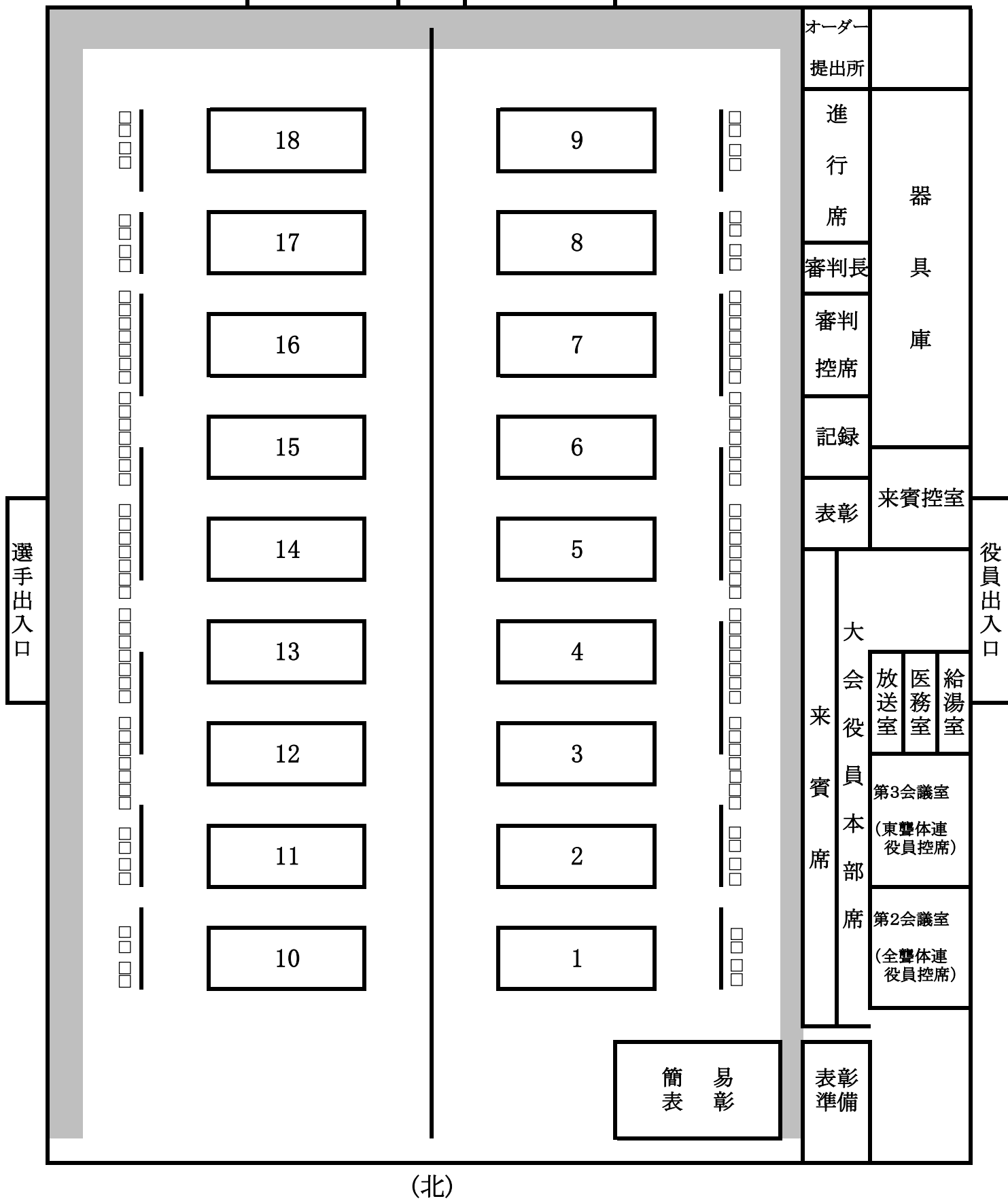


コート配置図（第1競技場2日目）

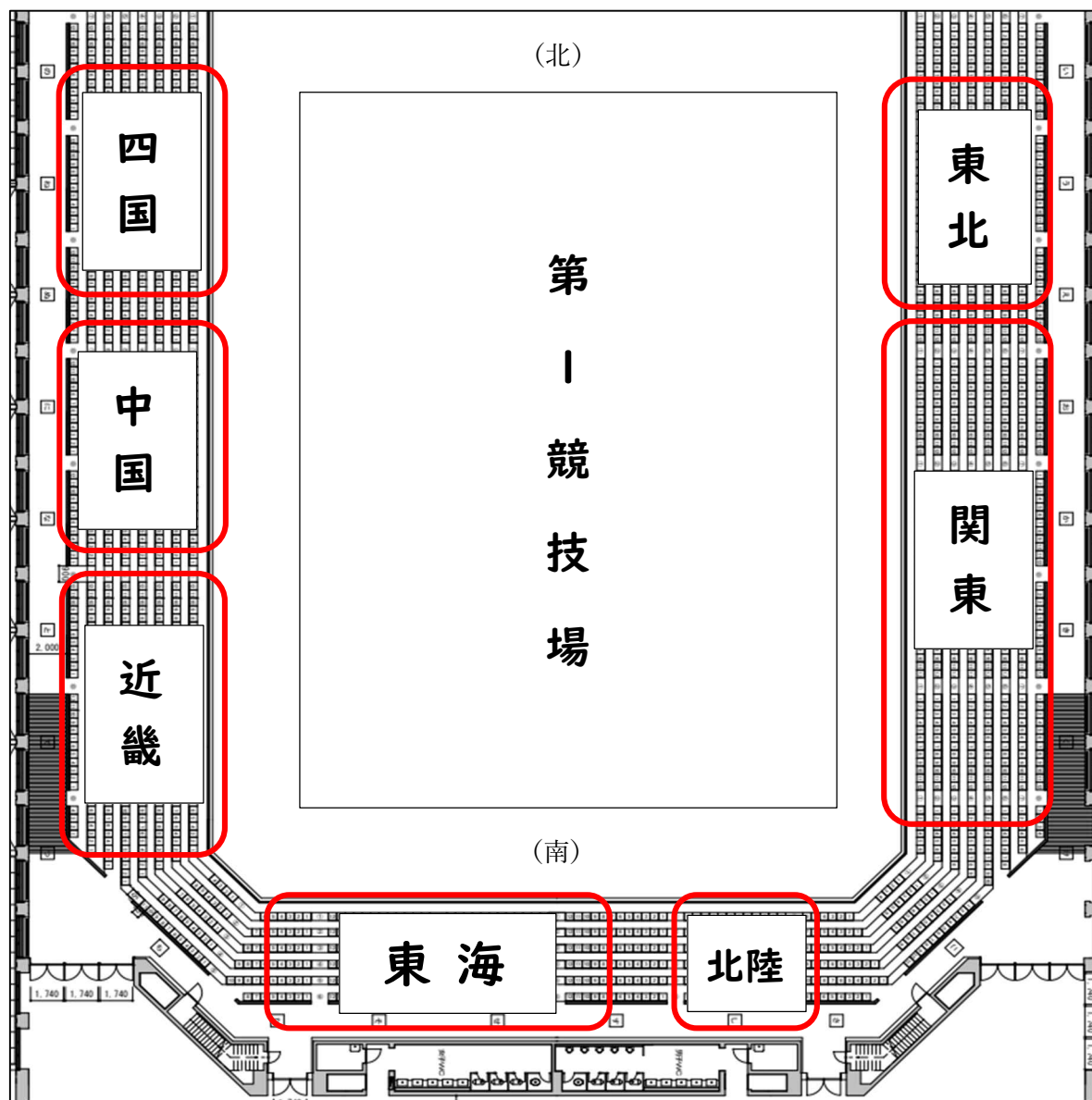
(南)

選手出入口

選手出入口

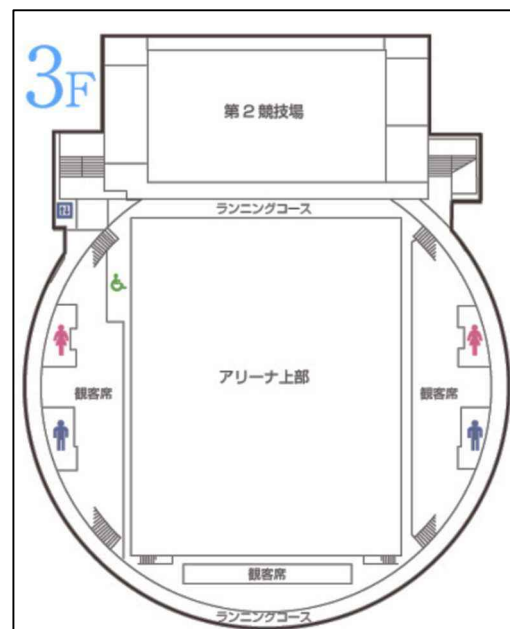


会場観客席配置図（体育館3階）



- ・上記の座席配置図はイメージ図となります。実際の体育館の形状は右記のようになっておりますので、地区ごと割り振られた座席に準じてご利用ください。
- ・最前列の座席については、応援者優先（フリー）としますので、荷物は置かないようにして下さい。大きな荷物については、通行の邪魔にならない場所に置き、貴重品の管理は各校でお願いします。
- ・観客席後方はランニングコースとなっております。ウォーミングアップ等で使用しても構いませんが、けがには十分に気を付けてご利用下さい。

体育館3階の実際の形状



競技会場体育館周辺・駐車場図

○ 周辺地図およびアクセス方法



千種スポーツセンターへのアクセス方法	
地下鉄	名古屋市営地下鉄東山線 「東山公園」または 「星ヶ丘」下車、徒歩5分
市バス	星丘 11 地下鉄自由ヶ丘 ⇄ 星ヶ丘「千種スポーツセンター」
アクセスサイト	「名鉄」サイトへ 「名古屋市交通局」サイトへ

○ 駐車場マップ



※ 千種スポーツセンター西側に隣接している駐車場は、千種スポーツセンターの駐車場ではありませんので、駐車は御遠慮ください。千種スポーツセンター東側にある入り口から入庫し、駐車していただきますようよろしくお願いいたします。なお、出庫の際には、事前精算(1日300円)が必要となります。千種スポーツセンター1F 正面入り口に事前精算機がありますので、支払いを済ませてから出庫してください。

第60回記念全国聾学校卓球大会における
個人情報及び肖像権に関わる取扱いについて

全国聾学校体育連盟（以下「連盟」という）、第60回記念全国聾学校卓球大会実行委員会（以下「実行委員会」という）は、大会参加申込書等を通じて取得する個人情報及び肖像権の取扱いに関して以下のとおり対応します。ただし、連盟および実行委員会に申請のある生徒については、肖像権の取扱いに関してのみ、配慮するものとします。

1 参加申込書に記載された個人情報の取扱い

- (1) 大会プログラムに掲載されます。
- (2) 競技会場でアナウンス等により紹介されることがあります。
- (3) 競技会場内外の掲示板等に掲載されることがあります。
- (4) 組合せ等の内容が大会関連ホームページに掲載されることがあります。

2 競技結果等の取扱い

- (1) 連盟、実行委員会、又はこれらに認められた報道機関等により新聞・雑誌及び関連ホームページ等で公開されることがあります。
- (2) 大会プログラム掲載の個人情報とともに、連盟及び実行委員会が作成する大会報告書（以下「報告書」という）に掲載されます。
- (3) 優勝及び上位入賞結果等は、連盟発行冊子および次年度以降の大会プログラムに掲載されることがあります。

3 肖像権に関する取扱い

- (1) 連盟、実行委員会、又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真が、新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページ等で公開されることがあります。
- (2) 連盟、実行委員会、又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放映及びインターネットによって配信されることがあります。また、DVD等に編集され、配付されることがあります。
- (3) この他、連盟及び実行委員会等に許可を受けた写真撮影企業等によって撮影された写真等が販売されることがあります。

4 連盟及び実行委員会としての対応

- (1) 取得した個人情報を上記利用目的以外に使用することはありません。
- (2) 大会参加申込書の提出により、上記取扱いに関するご承諾をいただいたものとして、対応させていただきます。ただし、連盟および実行委員会に申請のある生徒については、肖像権の取扱いに関してのみ、以下のように配慮するものとします。
 - ①申請（別紙様式6）のある生徒については、肖像権の取扱いに配慮を要する生徒であることがわかるよう、連盟および実行委員会が準備する目印等を装着していただきます。
 - ②連盟、実行委員会、又はこれらに認められた報道機関等は、肖像権の取扱いに配慮する生徒については撮影しません。また、やむを得ず撮影する場合には、本人と特定できない撮影方法によるものとします。
- (3) 大会役員、競技役員、運営役員、その他各種委員や補助員、連盟及び実行委員会と大会に関する契約をしている者、大会運営関係者及び会場に来られた観客の皆様につきましては、上記取扱いに関する御承諾をいただいたものとして対応させていただきます。
- (4) 個人情報等の掲載又は公開等に関しての御質問は、下記事務局まで御連絡ください。

(連絡先) 全国聾学校体育連盟事務局
(東京都立中央ろう学校内)
事務局長 竹見 昌久 (たけみ まさひさ)
TEL:03-5301-3034 FAX:03-5301-3035

第60回記念全国聾学校卓球大会事務局
(愛知県立名古屋聾学校内)
担当 加藤 淳 (かとう じゅん)
TEL:052-762-6846 FAX:052-753-2247

大会本部

第60回記念全国聾学校卓球大会 実行委員会事務局

(愛知県立名古屋聾学校) TEL : 052-762-6846 FAX : 052-753-2247

(名古屋市千種スポーツセンター) TEL : 052-782-0700

大会期間中(夜間含む)実行委員会本部連絡先

大会事務局 加藤 淳 TEL: 090-4212-7801

本部宿舎(11月3日・4日)「ルブラ王山」 名古屋市千種区覚王山通8-18
TEL : 052-762-3105

医療関係

1 救護所の設置

- (1) 大会期間中、会場に救護所を設置する。
- (2) 救護所には生徒だけで来所させずに引率者等が付き添いをする。
- (3) 救護所では、応急手当を行い必要に応じて医療機関への連絡及び搬送手段の手配をする。
- (4) 救急車の要請は大会本部で行う。
- (5) 医務室での処置及び医療機関受診の結果は、救護係及び受診時の付き添い者等が大会本部に報告する。

2 宿泊施設等における医療救護

- (1) 宿泊施設で負傷または発病し、医療機関を受診する際には引率者等が付き添い、医療機関に連絡した上で受診し、結果を大会本部へ報告する。

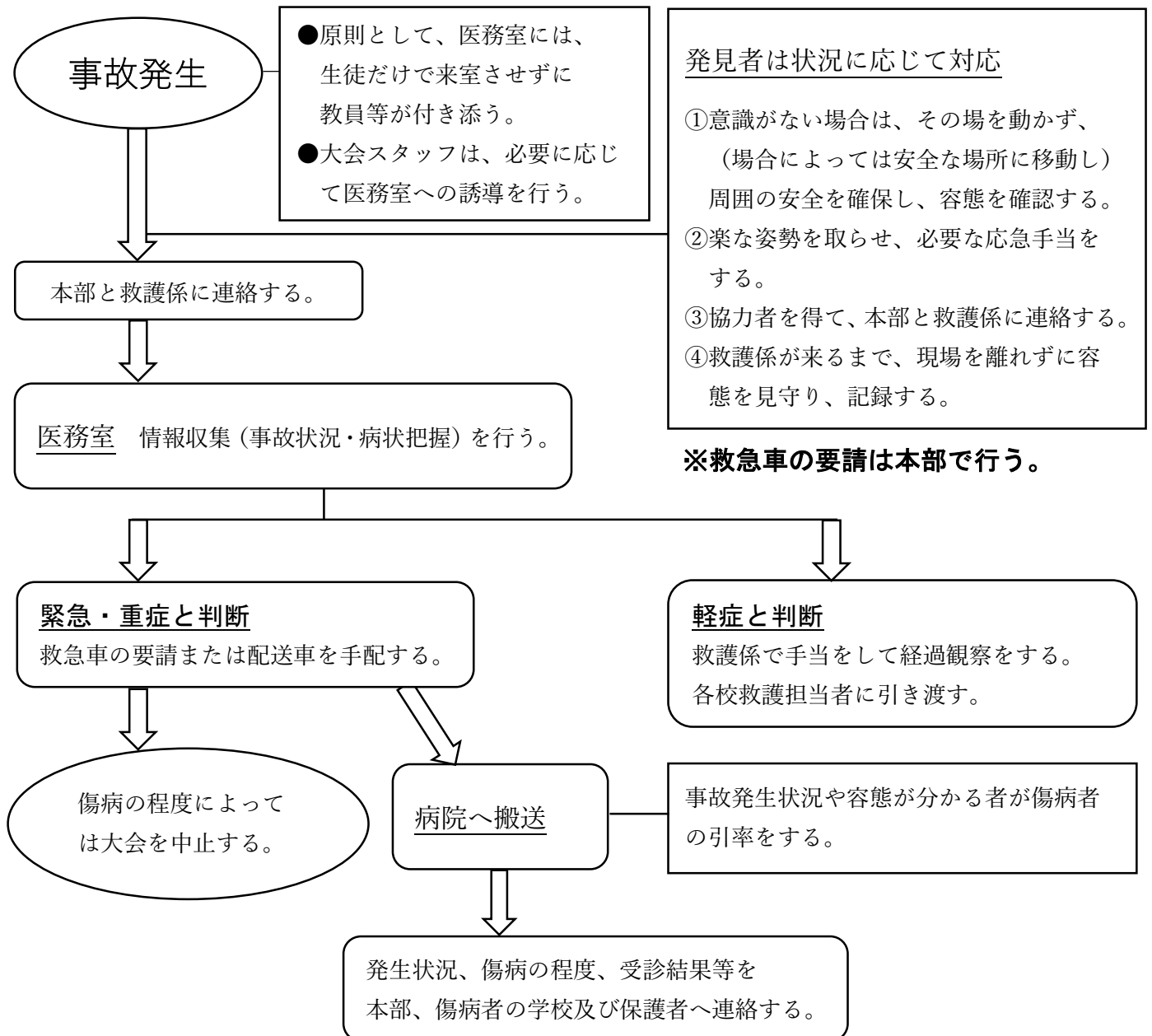
3 医療費等について

- (1) 医療機関を受診した際に要する費用は、すべて受診者の負担とする。また、「健康保険証」や「障がい者受給者証」等の原本提示がない場合は、全額自己負担となるので注意する。

4 感染症対策

- (1) 全国聾学校体育連盟の示す「第60回記念全国聾学校卓球大会における感染症対策」(ガイドライン)に従い、大会に参加すること。
- (2) 大会中については、感染症対策を励行し感染予防に努めるとともに健康観察を行う。また、大会終了後の体調異常についても上記ガイドラインに則り報告をすること。

緊急対応マニュアル



傷病者の引率者またはそれに準ずる者が行うこと

- ①選手（傷病者）の日常の様子を保健調査表等より把握しておく。（平熱・基礎疾患・投薬状況・アレルギー等）
 - ②傷病者が病院へ搬送される場合、本部の指示に従い健康保険証や受給者証等の原本を持って傷病者に付き添う。
 - ③傷病の発生状況、傷病の程度、受診結果等を本部、学校、保護者等の関係機関に連絡する。
- ※選手の健康保険証や受給者証等の原本は必ず持参し、病院へ搬送する場合はすぐに取り出せるように各校で留意して保管する。また、ワクチン接種の有無の確認などが速やかにできるよう保護者との連絡体制を整えておく。

救急医療機関一覧

病院名	診療科	受付時間	電話番号
わかやま整形外科 名古屋市千種区末盛通 5 丁目 8 - 1 (車で約 10 分)	整形外科 リハビリテーション科	(土) 9:00~14:00 * 日曜、祝日休診	052-761-1200
東山内科 名古屋市千種区東山通り 5 丁目 103 番地 (車で 5 分)	内科	(土) 9:00~12:00 13:30~17:00 (日) 10:00~13:00 * 祝日休診	052-781-1235

【救急外来】

名古屋市立大学病院 瑞穂区瑞穂町字川澄 1	救急科	休日（土曜・日曜・祝日） 午前 8 時 30 分から翌日午前 8 時 30 分まで 夜間（平日） 午後 5 時から翌日午前 8 時 30 分まで	052-851-5511
名古屋市立大学医学部附属東部医療センター 千種区若水 1 丁目 2 番 23 号	救急科	休日（土曜・日曜・祝日） 午前 8 時 45 分から翌日午前 8 時 45 分まで 夜間（平日） 午後 5 時 15 分から翌日午前 8 時 45 分まで	052-721-7171

その他の医療機関を探す場合。以下の方法でお探してください。

① 電話で探す場合

愛知県救急医療情報センターに電話 【電話番号】 052-263-1133 【受付時間】 毎日：24 時間

② インターネットで検索

あいち救急医療ガイドで検索

〔全国聾学校体育連盟感染防止ガイドライン〕

第 60 回記念全国聾学校卓球大会における感染症対策

【1】選手及び引率者について

- (1) 選手及び引率教員は、各所属校の感染対策や衛生行動基準等により、しっかり健康管理をして健康な状態で参加する。特に大会当日は、引率教員の管理の下、体調異常がある場合には参加の仕方を検討する等の方策を講じること。
- (2) 選手及び引率教員は、以下の『全国大会参加者の注意事項』を理解した上で大会に参加すること。

【2】役員、来賓、審判員について

- (1) 役員、来賓、審判員は個人の責任の下、健康管理をして健康な状態で参加する。特に大会当日は、体調異常がある場合には参加を控える等の方策を講じること。
- (2) 以下の『全国大会参加者の注意事項』を理解した上で大会に参加すること。

【3】観客について

- (1) 本大会の観客は、特に制限しない。
- (2) 以下の『全国大会参加者の注意事項』を理解した上で入場すること。

【4】会場内の対策について（大会実行委員会）

- (1) 『全国大会参加者の注意事項』を掲示等し、参加者に周知する。
- (2) 会場内での感染防止対策については、開催地及び大会会場の使用規定に従うこととするが、手指消毒液やマスク等は、必要に応じて参加者持参の要請をする。

【5】選手、引率教員、役員、審判員の感染が大会終了後に判明した場合の対応

- (1) 大会終了後 1 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに全国聾学校体育連盟事務局（中央校）に報告する。全国聾学校体育連盟事務局（中央校）は、速やかに参加校、役員、審判員に連絡する。
- (2) 感染者や濃厚接触者は特定せず、SNS 等で誤った情報を発信することのないよう、全ての関係者に対して適切に指導する。

※この報告は、大会中に感染が発生した事実を伝え、大会参加者が事後の体調管理をするための情報を提供する観点で行うこととする。

『全国大会参加者の注意事項』

- ☐ マスク着用は個人の判断とするが、会場への移動中や会場内でも密接密集するような場所では、着用を推奨する。
- ☐ 会場内での手洗い・アルコール等による手指消毒を推奨する。（アルコール等については、参加者が必要に応じて持参する。）
- ☐ 会場内では、参加校や個人の感染対策方針を、お互いに尊重した行動をとること。

全国聾学校卓球大会 栄光の記録

回数	開催年度	都道府県	参加校	参加生徒	団体戦		個人戦男子				個人戦女子			
					男子	女子	一部		二部		一部		二部	
1	1964	東京	18	256	石神井	大宮	丹内清見	(八戸)			竹内幸子	(大田)		
2	1965	茨城	18	266	水戸	大宮	貝原浩福	(水戸)			竹内幸子	(大田)		
3	1966	栃木	20	192	秋田	沼津	加納実	(岐阜)			金子真理子	(岐阜)		
4	1967	岐阜	20	101	岐阜	沼津	古寺信幸	(石神井)			芳村知子	(三重)		
5	1968	群馬	23	162	千葉	千葉	石橋敏男	(千葉)	貝原浩福	(石神井)	芳村知子	(三重)		
6	1969	東京	27	127	千葉	長岡	石橋敏男	(千葉)	貝原浩福	(石神井)	西岡京子	(浜松)	増田美代子	(千葉)
7	1970	秋田	26	125	千葉	長岡	石橋敏男	(千葉)	上山国美	(綾瀬)	斎藤栄子	(長岡)	小山妙子	(大田)
8	1971	奈良	27	156	八戸	山形	酒井政幸	(八戸)	石橋敏男	(千葉)	早川佳子	(群馬)	五十嵐紀	(山形)
9	1972	三重	29	165	秋田	山形	中山昌一	(京都)	石橋敏男	(千葉)	池田よし江	(大宮)	斎藤栄子	(長岡)
10	1973	新潟	28	187	筑波	大宮	山口教雄	(筑波)	斎藤望	(千葉)	五十嵐清子	(山形)	斎藤栄子	(長岡)
11	1974	大阪	30	177	筑波	坂戸	真名田厚義	(大宮)	三浦昭市	(秋田)	小原靖子	(高知)	五十嵐清子	(山形)
12	1975	東京	33	186	筑波	筑波	田村守	(筑波)	吉田清繁	(秋田)	小原靖子	(高知)	井上栄子	(山形)
13	1976	青森	29	174	筑波	筑波	木原彰利	(筑波)	宮崎尚人	(筑波)	田丸生子	(横須賀)	永沢キク	(山形)
14	1977	愛知	30	193	群馬	一宮	吉田昭徳	(群馬)	旅川正人	(大田)	恒川正子	(一宮)	安藤わき江	(一宮)
15	1978	茨城	32	195	青森	一宮	西浜要	(青森)	内之倉慎治	(名古屋)	加藤春美	(一宮)	中村美智子	(綾瀬)
16	1979	滋賀	33	228	青森	一宮	津川工	(青森)	杉山幸一	(大田)	加藤春美	(一宮)	鈴木典子	(一宮)
17	1980	千葉	36	213	高知	高知	伊藤一臣	(高知)	木和田賢司	(生野)	伊藤歌笛	(一宮)	鈴木典子	(一宮)
18	1981	兵庫	37	228	高知	群馬	伊藤一臣	(高知)	木和田賢司	(生野)	房安京子	(鳥取)	高橋知子	(宮城)
19	1982	東京	35	231	青森	群馬	千葉幹志	(青森)	伊藤一臣	(高知)	木暮公代	(群馬)	青木恵子	(高知)
20	1983	東京	38	243	千葉	高知	寺田英明	(千葉)	豊永公一	(高知)	笹岡美佐	(高知)	秋山初枝	(千葉)
21	1984	石川	37	229	千葉	高知	桑山幸和	(名古屋)	西村高昌	(綾瀬)	笹岡美佐	(高知)	秋山初枝	(千葉)
22	1985	京都	40	236	千葉	高知	伊藤正一	(千葉)	杉山達行	(生野高)	笹岡美佐	(高知)	野村夏子	(千葉)
23	1986	高知	38	235	名古屋	一宮	中島貞幸	(広島)	桑山幸和	(名古屋)	岡村昌江	(高知)	荒川弘子	(一宮)
24	1987	栃木	36	242	青森	一宮	青山修	(青森)	山田順也	(和歌山)	伊藤あゆみ	(一宮)	中山由美	(高知)
25	1988	愛知	41	246	青森	高知	東田孝広	(青森)	高村巖	(名古屋)	和田明子	(高知)	岡村昌江	(高知)
26	1989	岡山	43	230	千葉	高知	藤原幸成	(千葉)	澤内卓也	(宮城)	和田明子	(高知)	大森深雪	(筑波)
27	1990	秋田	40	221	千葉	筑波	石森康弘	(宮城)	鶴見幸司	(筑波)	坂本珠美	(筑波)	和田明子	(高知)
28	1991	神奈川	37	225	香川	筑波	古田裕人	(和歌山)	藤原幸成	(千葉)	鈴木亜希子	(筑波)	梶川知美	(高知)
29	1992	和歌山	39	220	香川	筑波	中尾美弘	(香川)	古田裕人	(和歌山)	星出千佳子	(一宮)	山崎ルミ子	(千葉)
30	1993	福井	42	227	坂戸	一宮	原朋久	(坂戸)	古田裕人	(和歌山)	星出千佳子	(一宮)	伊野部美佐	(高知)
31	1994	東京	35	228	徳島	一宮	國本雄一郎	(千葉)	西川明秀	(生野高)	住友明子	(一宮)	君塚昌子	(千葉)
32	1995	香川	42	242	徳島	一宮	黒川真樹	(千葉)	水谷仁紀	(名古屋)	稲葉千寿子	(一宮)	佐藤真基子	(長岡)
33	1996	兵庫	46	256	坂戸	千葉	門田弘徳	(坂戸)	金子圭一	(群馬)	田中雅美	(千葉)	横瀬奈穂子	(千葉)
34	1997	広島	40	215	千葉	千葉	佐藤圭吾	(千葉)	三沢論	(宮城)	田中雅美	(千葉)	横瀬菜穂子	(千葉)
35	1998	神奈川	41	225	千葉	千葉	岩泉竜一	(千葉)	手塚和義	(綾瀬)	石井優子	(千葉)	池田由美	(千葉)
36	1999	山形	43	229	千葉	千葉	岩泉竜一	(千葉)	岡和啓	(筑波)	宇井春美	(千葉)	池田由美	(千葉)
37	2000	愛知	43	234	千葉	千葉	岩泉竜介	(千葉)	高橋広喜	(宮城)	早瀬戸渚	(和歌山)	濱渦綾子	(高知)
38	2001	埼玉	37	225	山梨	千葉	小川真	(秋田)	仙城貴之	(宮城)	福島薫	(千葉)	宇井春美	(千葉)
39	2002	兵庫	44	207	水戸	千葉	松下健	(水戸)	中山明人	(大阪)	永田瞳	(千葉)	宇井春美	(千葉)
40	2003	富山	44	212	千葉	堺	三上洋平	(千葉)	宇野潤	(秋田)	岩本彩子	(堺)	星野めぐみ	(千葉)
41	2004	大阪	40	223	堺	千葉	三上洋平	(千葉)	上野彬	(大宮)	佐藤悠	(千葉)	星野めぐみ	(千葉)
42	2005	群馬	44	228	千葉	千葉	渡邊惇志	(千葉)	橋本竜太郎	(千葉)	斉藤由紀	(千葉)	新井麻美	(大宮)
43	2006	宮城	43	192	千葉	千葉	佐々木純一	(浜田)	橋本竜太郎	(千葉)	塩野絵美	(千葉)	中村有希	(高知)
44	2007	山口	39	197	横浜	千葉	何木紀之	(千葉)	高橋晃弘	(平塚)	塩野絵美	(千葉)	佐藤悠	(千葉)
45	2008	長野	39	210	千葉	千葉	宮下直樹	(横浜)	藤原裕也	(高知)	高岡里史	(千葉)	佐藤悠	(千葉)
46	2009	三重	41	212	山梨	千葉	小島智康	(水戸)	藤原裕也	(高知)	尾方ちひろ	(千葉)	木暮千裕	(群馬)
47	2010	福島	39	215	山梨	千葉	亀澤史憲	(山梨)	田中康裕	(高知)	高岡里史	(千葉)	岡野智子	(高知)
48	2011	東京	37	211	水戸	筑波	新堀貴大	(水戸)	阿久澤翔	(葛飾)	大室萌花	(広島南)	近藤愛莉	(高知)
49	2012	新潟	38	213	広島南	千葉	大室達也	(広島南)	中山貴紀	(平塚)	椋田愛梨	(千葉)	石井光恵	(葛飾)
50	2013	徳島	36	219	広島南	千葉	伊藤優希	(広島南)	江守英智	(葛飾)	椋田愛梨	(千葉)	竹元桃花	(だいせん)

回数	開催年度	都道府県	参加校	参加生徒	団体戦		個人戦男子				個人戦女子			
					男子	女子	一部		二部		一部		二部	
51	2014	滋賀	37	209	広島南	千葉	伊藤優希	(広島南)	松本 智	(だいせん)	棕田愛梨	(千葉)	竹元桃花	(だいせん)
52	2015	千葉	36	222	広島南	千葉	伊藤優希	(広島南)	山田大貴	(石 川)	大垣京佳	(千葉)	原代采奈	(和歌山)
53	2016	島根	38	213	沼 津	沼 津	川口功人	(横 浜)	澤木優汰	(葛 飾)	杉山愛美	(沼 津)	原代采奈	(和歌山)
54	2017	愛媛	36	182	横 浜	沼 津	川口功人	(横 浜)	佐藤賢光	(宮 城)	杉山愛美	(沼 津)	板倉未苗	(名古屋)
55	2018	青森	37	193	沼 津	大 宮	浅野竜健	(葛 飾)	山田 龍	(宮 城)	影山光輝	(平 塚)	相澤真衣	(葛 飾)
56	2019	愛知	40	207	宮 城	大 宮	森廣 翼	(山南)	浅沼柊平	(立 川)	仲田 幸	(水 戸)	上田直佳	(立 川)
57	2020	福井	新型コロナウイルス感染拡大のため大会中止											
58	2021	東京												
59	2022	香川	35	138	岡 崎	水 戸	前野大斗	(宮 城)	程塚麗矢	(富 山)	柴田夏菜	(千葉)	福田実可	(葛 飾)

第60回記念大会 成績一覧表

			男 子		女 子	
団 体 戦	一 部	優 勝				
		準優勝				
		第3位				
個 人 戦	一 部	優 勝				
		準優勝				
		第3位				
	二 部	優 勝				
		準優勝				
		第3位				

新感覚。

フットワークは

変えられる

Nittaku® × YONEX®

バドミントン界のリーディングカンパニーであるヨネックスとタッグを組み、ニッタクのノウハウを活かした卓球選手のためのシューズを共同開発。ヨネックスで数多くのトップ選手が愛用しているモデルをベースに、足入れ感やミッドソールの厚み、インソールの硬度を調整し最適化。前後左右の細かいステップが不可欠となる卓球のフットワークに適したシューズが完成しました。

TECHNOLOGY

01



細かい動きを素早く！

台上処理からの戻りや素早いラリー戦などの細かい動きに対して、パワーロスなく次の動作へ素早く移れる

TECHNOLOGY

02

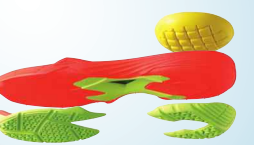


横ブレを抑える！

左右に大きく振られて踏ん張った際の横ブレを抑えることで、安定性が向上

TECHNOLOGY

03



衝撃を吸収！

強く踏み込んだ際の衝撃を吸収し、膝や踵などの痛みを軽減。衝撃をエネルギーに変えることで、素早い動きを助ける

MOVINGACE⁺

NEW '23.4.21

ムービングエース NS-4438 ¥ 19,800 (税抜¥18,000)

サイズ: 22.5~29.0cm(0.5cm刻み) 14サイズ カラー: ホワイト(70) MADE IN VIETNAM

特設サイトは
こちら

